山形大学
Yamagata University

学長定例記者会見要項

日　　時：　令和５年４月６日（木）　１１：００～１１：４５

場　　所：　法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟３階）

発表事項

1．山形大学がスポーツ競技団体と連携協定を締結　～山形県ラグビーフットボール協会・山形陸上競技協会～

2．多彩で繊細な手触りを評価する触覚センシングシステムを実用化～化粧品･自動車・繊維・バーチャルリアリティに応用展開～

3．高大連携授業による探究活動の促進～山形大学と米沢興譲館高等学校の相互連携の試み～

4．第 16 回山形大学高校生朗読コンクール出場者募集

5．山形の「記憶」を一堂に公開する「山形アーカイブ」が完成！～山形市郷土館・最上義光歴史館など山形県内の資料保存機関も参加～

6．山大生が地域の「記憶」のアーカイブ化に本格的に着手！

7．ヤマガタステムアカデミー4期生募集開始！ ～令和4年度の現役生の素晴らしい活躍～

お知らせ

1．地域の日本語教育環境の充実に向けた取り組み～日本語教育者のスキルアップを目指し、岩手・秋田・山形が合同で講座を開講～

2．山形大学男女共同参画セミナー及びダイバーシティセミナーを開催します

3．『ホガースの時代（版画で読むイギリス）』出版

4．公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します

（参　考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日　時：令和５年５月１１日（木）１１：００～１１：４５

場　所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟３階）

学長定例記者会見（4月6日）発表

1．山形大学がスポーツ競技団体と連携協定を締結　～山形県ラグビーフットボール協会・山形陸上競技協会～

学　　長　　玉手（たまて）　英利（ひでとし）
小白川キャンパス長　　大西（おおにし）　彰正（あきまさ）
健康と学びのサポートセンター　センター長　　中西（なかにし）　正樹（まさき）
一般社団法人山形陸上競技協会　会長　　佐藤（さとう）　廣志（ひろし）
山形県ラグビーフットボール協会　会長　　遠藤（えんどう）　靖彦（やすひこ）

2．多彩で繊細な手触りを評価する触覚センシングシステムを実用化～化粧品･自動車・繊維・バーチャルリアリティに応用展開～

学術研究院　教授（化学・バイオ工学分野）　　野々村（ののむら）　美宗（よしむね）
株式会社トリニティーラボ　代表取締役社長　　野村（のむら）　修平（しゅうへい）
東京都立産業技術研究センター　　齋藤（さいとう）　庸賀（やすよし）

3．高大連携授業による探究活動の促進～山形大学と米沢興譲館高等学校の相互連携の試み～

学術研究院　准教授（認知科学）　　大杉（おおすぎ）　尚之（たかゆき）
学術研究院　教授（情報科学）　　本多（ほんだ）　薫（かおる）
学術研究院　教授（日本文学）　　山本（やまもと）　陽史（はるふみ）

4．第16回山形大学高校生朗読コンクール出場者募集

学術研究院　教授（日本文学）　　山本（やまもと）　陽史（はるふみ）

5．山形の「記憶」を一堂に公開する「山形アーカイブ」が完成！～山形市郷土館・最上義光歴史館など山形県内の資料保存機関も参加～

学術研究院准教授（人文社会科学部担当）・附属博物館学芸研究員　　小幡（おばた）　圭祐（けいすけ）

6．山大生が地域の「記憶」のアーカイブ化に本格的に着手！

学術研究院准教授（人文社会科学部担当）・附属博物館学芸研究員　　小幡（おばた）　圭祐（けいすけ）
人文社会科学部人文社会科学科３年　　髙橋（たかはし）　怜華（れいか）
人文社会科学部人文社会科学科３年　　三浦（みうら）　丈翔（たける）

7．ヤマガタステムアカデミー4期生募集開始！ ～令和4年度の現役生の素晴らしい活躍～

地域共創STEAM教育推進センター　統括責任者　　栗山（くりやま）　恭直（やすなお）
地域共創STEAM教育推進センター　プロジェクト教員　　安達（あだち）　茜（あかね）
山形大学附属中学１年生　　西塚（にしつか）　弘仁朗（こうじろう）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和5年（2023年）4月6日

山形大学がスポーツ競技団体と連携協定を締結

～　山形県ラグビーフットボール協会・山形陸上競技協会　～

【本件のポイント】

- それぞれの資源や機能等を活用しながら相互に協力し、本学の「共創拠点」化を図り、スポーツを通じた地域貢献・地域活性化及びスポーツ文化の振興と発展に寄与することを目的に締結
- 山形大学が県内のスポーツ競技団体と連携協定を締結するのは令和３年度の特定非営利活動法人山形県サッカー協会に続き２件目
- 互いに連携・協働することで競技人口の増加や指導者の育成などスポーツの技術力・競技力向上に寄与し、相乗効果による本学の教育、研究への波及と好循環に繋がることが期待される

令和4年9月 放課後ラグビープログラム（JRFU提供）

令和4年10月 全国駅伝で活躍できるアスリート育成プロジェクト

【概要】

山形大学（学長：玉手英利）は、令和５年４月６日に山形県ラグビーフットボール協会（会長：遠藤靖彦）、及び一般財団法人山形陸上競技協会（会長：佐藤廣志）とそれぞれ包括連携協定を締結しました。本学が県内のスポーツ競技団体と連携協定を締結するのは令和３年度の特定非営利活動法人山形県サッカー協会に続き２件目です。

この協定締結は、それぞれの資源や機能等を活用しながら相互に協力し、山形大学の教育及び研究の充実・発展を図り、さらにラグビーや陸上競技を通じた地域貢献・地域活性化及びスポーツ文化の振興と発展に寄与することを目的としたものです。

すでに両協会とは昨年度から互いに協力する形で試行的に連携を行っており、各協会それぞれと連携し協働することで本学施設が地域の人々と連携し交流できる「共創」の場として地域連携に貢献することを目指します。また、大学の施設に「大学の知」という付加価値を投入し、一般の公共施設では実現できない大学ならではの地域貢献を行うことで、相乗効果による教育、研究への好循環に繋がることが期待されます。

【背景】

文部科学省は新しい価値と社会的変化（イノベーション）の創出のために国立大学等キャンパスの「共創拠点（イノベーション・コモンズ）」化を推進し、国立大学へのソフト・ハード両面での支援を強化しています。そして令和３～４年度にかけて小白川キャンパスの屋外体育施設が全面改修されたことを受けて、本学ではこれらリソースの活用を通したステークホルダーとの共創活動の可視化、そして地域課題解決の一助となることを目指しています。特にスポーツ文化に関して、部活動の地域移行に伴う指導者の育成や練習場所の確保、競技人口減少等の地域課題が多数ある中で両協会からのニーズを受けて、すでに昨年度から互いに協力する形で連携事業を試行的に行っています。今後はより強固で双方の持続的な発展のために連携を深めていくことを目指して、今回の締結に至りました。

【今後の展望】

小中学生対象のスポーツ教室や各種スポーツ指導者養成等の拠点として本学施設を活用してもらい、競技人口の増加やスポーツの技術力・競技力向上に寄与し、本学施設が地域の人々と連携し交流できる「共創」の場になることを目指します。また、単にグラウンドを開放するだけではなく、「大学の知」という付加価値を投入することで新たな教育プログラムを開発するなど、一般の公共施設では実現できない大学ならではの地域貢献を行うことで、相乗効果による教育・研究への波及と好循環に繋がることが期待されます。

お問い合わせ
学術研究院　教授（地域教育文化学部主担当）　中 西 正 樹
（健康と学びのサポートセンター センター長）
TEL　023-628-4428　　メール　yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【協定の内容】

協定の名称：　国立大学法人山形大学と山形県ラグビーフットボール協会との包括連携協定書
国立大学法人山形大学と一般財団法人山形陸上競技協会との包括連携協定書
（以下、各協定書共通）

締結年月日：　令和5(2023)年4月6日

期　　間：　令和6(2024)年3月31日まで（更新有り）

目　　的：　両機関の包括的な連携のもと、それぞれの資源や機能等を活用しながら相互に協力し、山形大学の教育及び研究の充実・発展を図り、もって（　ラグビー・陸上競技　）を通じた地域貢献・地域活性化及びスポーツ文化の振興と発展に寄与すること

連 携 内 容：

(1)　双方が有する知的資源、人的資源、及び物的資源の相互活用に関すること

(2)　双方が共同で実施する事業の企画、調整、及び推進に関すること

(3)　その他、目的を達成するために必要な事項に関すること

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

令和5年（2023年）4月6日

多彩で繊細な手触りを評価する触覚センシングシステムを実用化

～化粧品･自動車・繊維・バーチャルリアリティに応用展開～

【本件のポイント】

- ●ヒトがモノに触れた時に感じる手触りを評価する触覚センシングシステムを開発。
- ●指を模した｢触覚接触子｣とモノに触れる時の動きを再現する｢摩擦ユニット｣が導入され、これまで難しかった多彩で繊細な手触りの解析が可能に。
- ●化粧品･自動車･繊維等、肌に触れる商品を開発する企業からのリクエストに応えるため、いよいよ実用化!

【概要】

ヒトはモノに触れた時、さまざまな触感を感じとることができますが、これらの感覚を評価する技術は確立されていませんでした。この度、山形大学（学長：玉手英利）の野々村美宗教授と株式会社トリニティーラボ（代表取締役社長：野村修平）は、東京都立産業技術研究センター(理事長：黒部篤)の協力を受け、ヒトが指でモノに触れる時の自然で滑らかな動きを再現したバイオミメティック触覚センシングシステムを上市いたします。これまでの 10 年間の取り組みにより、本システムを用いることで、｢しっとり｣｢なめらか｣｢さらさら｣｢ぬるぬる｣などの多彩で繊細な感覚を物理的に解析することが可能になりました。本装置は、化粧品･自動車・繊維・バーチャルリアリティをはじめとする様々な産業分野で利用されることが期待されており、第 11 回化粧品産業技術展(CITE Japan 2023)、トライボロジー会議 2023 に出展されます。

【内容】

ヒトはモノに触れた時、「さらさら」「べたべた」「しっとり」など、さまざまな触感を感じます。しかし、これらの多彩で繊細な質感をセンシングすることは難しく、そのことが塗り心地の良い化粧品、高級感を感じさせる自動車、現実世界とそっくりなバーチャルリアリティーを開発するための障害となっていました。

そこで、野々村教授とトリニティーラボの研究グループは、2013 年に「バイオミメティック触覚センシングシステム」を開発しました(図 1)。このシステムは、ヒトの指の構造・硬さ・表面物性を模倣した「指モデル接触子」を用いて、自然で滑らかな動きを真似た正弦運動下で摩擦して、ヒトがモノに触れた時に皮膚表面で起こる現象を再現することが可能であることが特徴で、世界的に見てもこのようなコンセプトの触覚評価装置は例がありません。

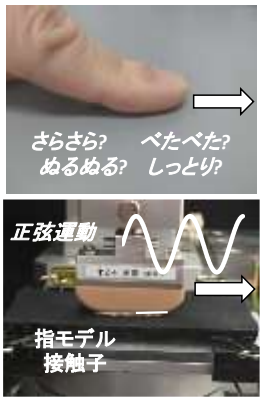


図1　触覚センシングシステムのコンセプト．ヒトがモノに触れた時の現象をそのまま再現

その後 10 年間、野々村教授の研究グループでは、さまざまなモノをこのシステムで評価し、22 報の学術論文として発表してきました。これらの研究成果によって、このシステムを用いることで、化粧品、繊維、樹脂材料など多くの分野で有用であることが確認されました。また、産業界の研究者･技術者のみなさまから、このシステムの実用化を望む声が上がったことから、東京都立産業技術研究センターと共同研究を行い、触覚評価測定機 TL201Sf として上市することとなりました。

お問い合わせ　　学術研究院教授（化学･バイオ工学分野）／野々村美宗
TEL　0238-26-3164　　メール nonoy@yz-yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

補足説明

【触覚センシングシステムでなにができる?】

触覚センシングシステムを利用した事例を幾つかご紹介します。

・事例１　しっとり感･さらさら感ってなに?

「しっとり感」「さらさら感」は化粧品･繊維などの多くの分野で重要視される質感です。そこで、触覚センシングシステムを用いて化粧用粉体、人工皮革など 12 の物質を評価しました。その結果、滑り出しでぐっと摩擦力が高まりながらも、その後一気に摩擦力が下がる特徴的な力学刺激が「湿り感」「なめらか感」を引き起こし、さらにはしっとり感として感じられることを明らかにしました。また、「さらさら感」に最も大きな影響を及ぼすのは摩擦抵抗の大きさであることや、「ぬくもり感」は単純な温かさに加えて、やわらかさが感じられた時に喚起されることが確認されています。

・事例２　化粧品のトリートメント効果を評価できる?

化粧品によって皮膚が潤ったり、トリートメントによって毛髪が滑らかになるケア効果を評価できることも確認されました。グリセリンなどによって潤って皮膚や毛髪が柔らかくなると摩擦係数は大きくなり、ワセリンや界面活性剤などの潤滑剤で被覆されると摩擦係数は小さくなり、プロファイルも滑らかになるのです(図 2)。

・事例３　繊維･塗料･樹脂材料･･･　色々な分野で利用可能!

今回の上市にあたり、東京都立産業技術研究センターにおいて摩擦学の立場から装置の特性を解析するとともに、繊維･塗料･樹脂材料の手触りの官能評価と摩擦パラメータの関係を解析し、なめらか感、すべり感、温冷感を解析するために本システムが有用であることを確認しました。

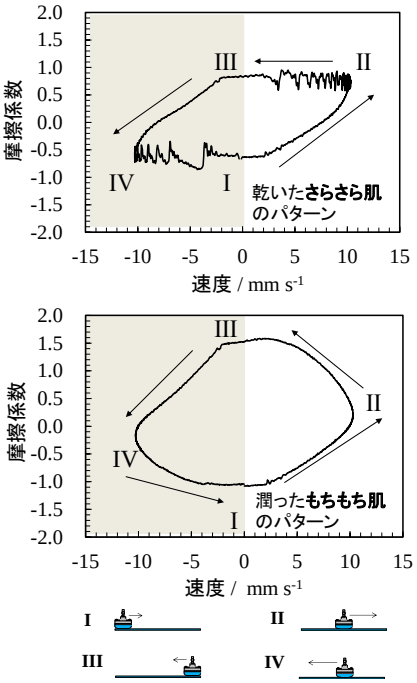


図2　触覚センシングシステムを利用した化粧品のトリートメント効果の評価．摩擦のパターンに皮膚の状態と手触りが現れる.

【今後の展望】

今回、2013 年に開発したバイオミメティック触覚センシングシステムを上市しました。この装置が様々な分野で活用され、手触りの良い繊維や塗り心地の良い化粧品、高級感を感じされる自動車用材料、よりリアルなバーチャルリアリティシステムや触覚を感じるヒューマノイド型ロボットの開発につながるように、また、あやふやなまま進められがちな触覚センシングの標準的な評価法となるよう、さらなる改良を進めて参ります。

出展展示会名

・第 11 回化粧品産業技術展　(CITE Japan 2023、5 月 17 日（水）～19 日（金）、パシフィコ横浜)
・トライボロジー会議 2023　(5 月 29 日(月)～31 日(水)、国立オリンピック記念青少年総合センター)

助成

本システムに関する研究の遂行にあたっては，JST 研究成果最適展開支援プログラム「FS ステージ　探索タイプ」および文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「多様な質感認識の科学的解明と革新的質感技術の創出」の助成を受けました。

用語

触覚:　動物の体表に物が触れたときに生ずる機械的接触を感受する感覚。メルケル盤，マイスネル小体，パチニ小体，ルフィニ終末，その他の受容器が知られる。　摩擦: 接触している物体の一方が動く際、もう一方の物体にそれを妨げようとする力が働く現象。バイオミメティック: 生体の機能をまねて、利用しようという技術。　バーチャルリアリティ: コンピュータの制御によって仮想空間を作り出し、人工的環境の中で視覚・聴覚・触覚などの疑似体験をさせること。また、その環境や技術。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【お問い合わせ】

・ 山形大学　野々村美宗
学術研究院　教授（化学･バイオ工学分野）
TEL　0238-26-3164　　メール nonoy@yz-yamagata-u.ac.jp

・ (株)トリニティーラボ　中田晃平
営業技術
TEL03-6280-3232　　メール：postmaster@trinity-lab.com

・ 東京都立産業技術研究センター
企画部　経営企画室　大原 衛
TEL　03-5530-2521　　メール koho@iri-tokyo.jp

PRESS RELEASE

多彩で繊細な手触りを評価する触覚センシングシステムを実用化

～化粧品･自動車・繊維・バーチャルリアリティに応用展開～

山形大学　野々村美宗
(株)トリニティーラボ　野村修平
東京都産業技術研究センター　齋藤 庸賀

ポイント

・ヒトがモノに触れた時に感じる手触りを評価する触覚センシングシステムを開発。

・これまで難しかった多彩で繊細な手触りの解析が可能に。

・化粧品･自動車･繊維等、肌に触れる商品を開発する企業からのリクエストに応えるため、いよいよ実用化!

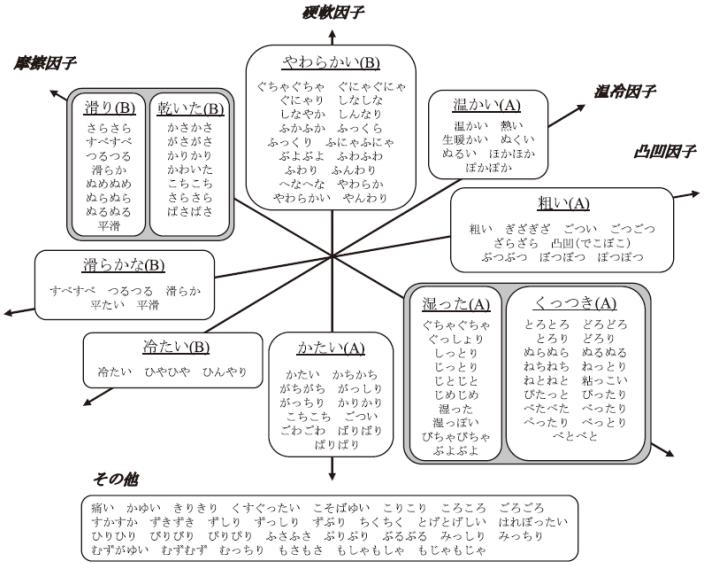
商品名:　触覚評価測定機TL201Sf
販売元:　(株)トリニティーラボ
発売日:　2023年5月

背　景

・ヒトはモノに触れた時、「さらさら」「べたべた」「しっとり」など、さまざまな触感を感じるが、これらの多彩で繊細な質感をセンシングすることは困難。

・このことが塗り心地の良い化粧品、高級感を感じさせる自動車、現実世界とそっくりなバーチャルリアリティー開発の障害。

ヒトが感じる触感は数十種類



倉光ら, *J. Soc. Cosmet. Chem. Jpn.* **2015**, *49*, 319.

触覚は産業界のホットトピック

2023 年 1 月 25 日
株式会社 NTT ドコモ
慶應義塾大学
国立大学法人名古屋工業大学

世界初、6G 時代に新たな価値を提供する「人間拡張基盤」によって相手の感じ方に合わせて触覚共有する技術「FEEL TECH」を開発
～触覚を記録し、相手に共有することも可能に～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 Embodied Media Project（研究室主宰者=南澤孝太教授。以下、慶大）、国立大学法人名古屋工業大学大学院工学研究科 Haptics Lab（研究室主宰者=田中由浩教授。以下、名工大）は、2022 年 1 月にドコモが開発した、人間の感覚をネットワークで拡張可能にする基盤（以下、「人間拡張基盤®」）において、モノに触れた時の触覚を「人間拡張基盤」で相手の感じ方に合わせて共有する技術「FEEL TECH™」（以下、本技術）を開発しました。相手の触覚に対する感度特性を踏まえて触覚を共有する基盤技術の開発は世界初※1 です。

プレスリリース:2023年1月25日 NTTドコモ、慶應義塾大、名古屋工業大

技術的な新規性・優位性

ヒトがモノに触れた時に皮膚表面で起こる現象を再現することで多彩で繊細な手触りの解析が可能に!

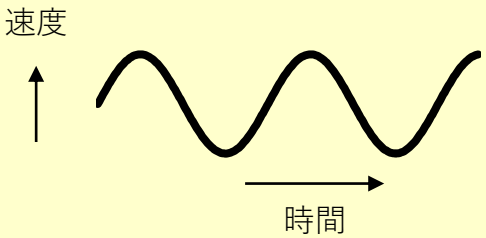
ポイント1

指の構造・硬さ・表面物性を模倣した「指モデル接触子」

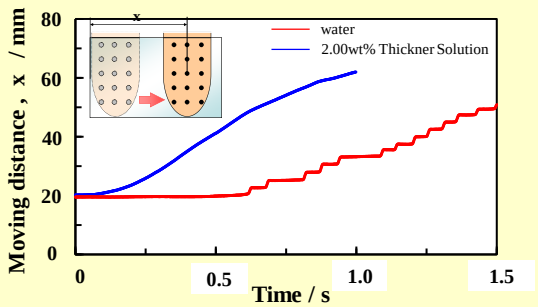
ポイント2

モノに触れる自然で滑らかな動きを模倣した「正弦運動」

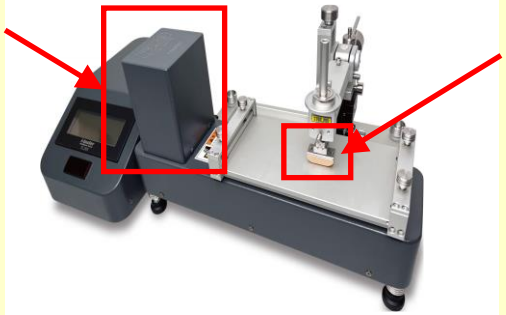
正弦運動



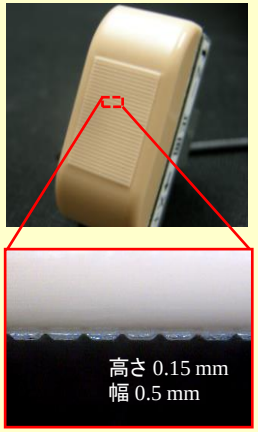
ヒト指の動きは常に変化



Y. Nonomura et al., *J. R. Soc. Interface* **2012**, *9*, 1216.



指モデル接触子



山形大学・(株)トリニティラボ・慶應義塾大学が共同開発

2011年12月

K. Kuramitsu *et al.*, *Chem. Lett.* **2013**, *42*, 284.

研究事例①　化粧用パウダー

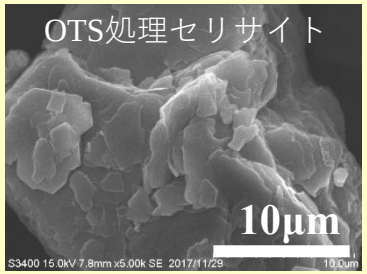
しっとり感･さらさら感ってなに?

大東化成工業(株)と学術論文を共同発表

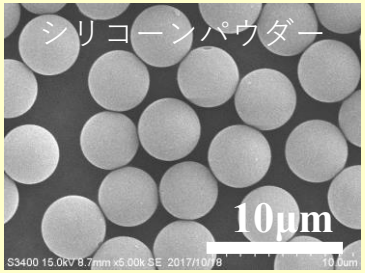
化粧用粉体、人工皮革、繊維などの手触りと摩擦の関係を解析、摩擦のパターンによる触感の発現メカニズムの説明に成功。

しっとり感　①触った瞬間に摩擦力が上がって「湿り感」
②摩擦力が一気に低下して「なめらか感」

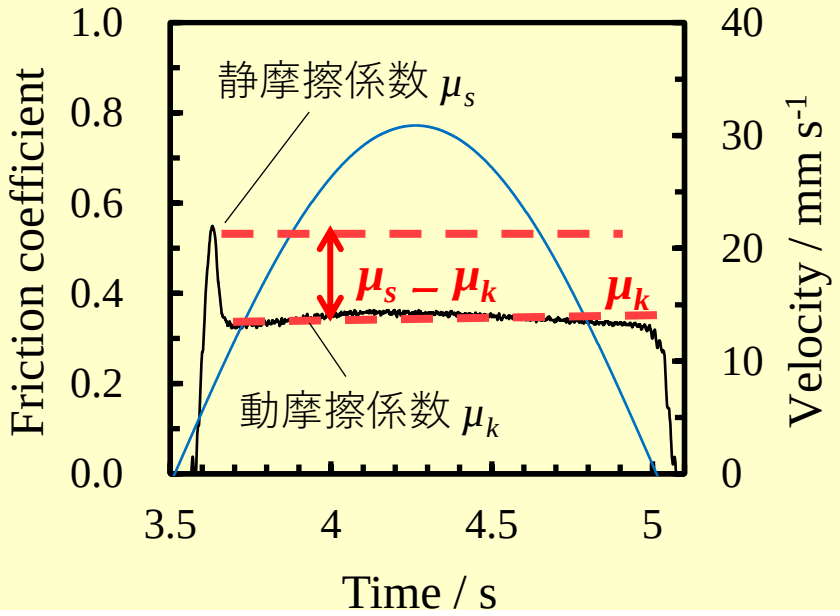
しっとりパウダー



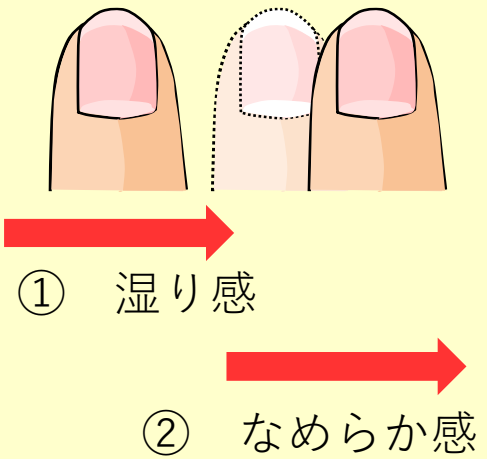
さらさらパウダー



しっとりパウダーの摩擦パターン



しっとり感のメカニズム

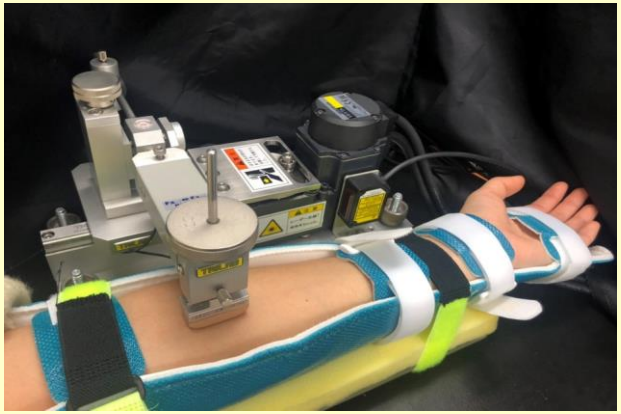


K. Kikegawa et al., *R. Soc. Open Sci.*, **2019**, *6*, 190039. Y. Kato et al., *J. Oleo Sci.* **2021**, *70*, 195. NHK「チコちゃんに叱られる!」制作班(監)チコちゃんの素朴な疑問365, 宝島社, 2022, p.223.

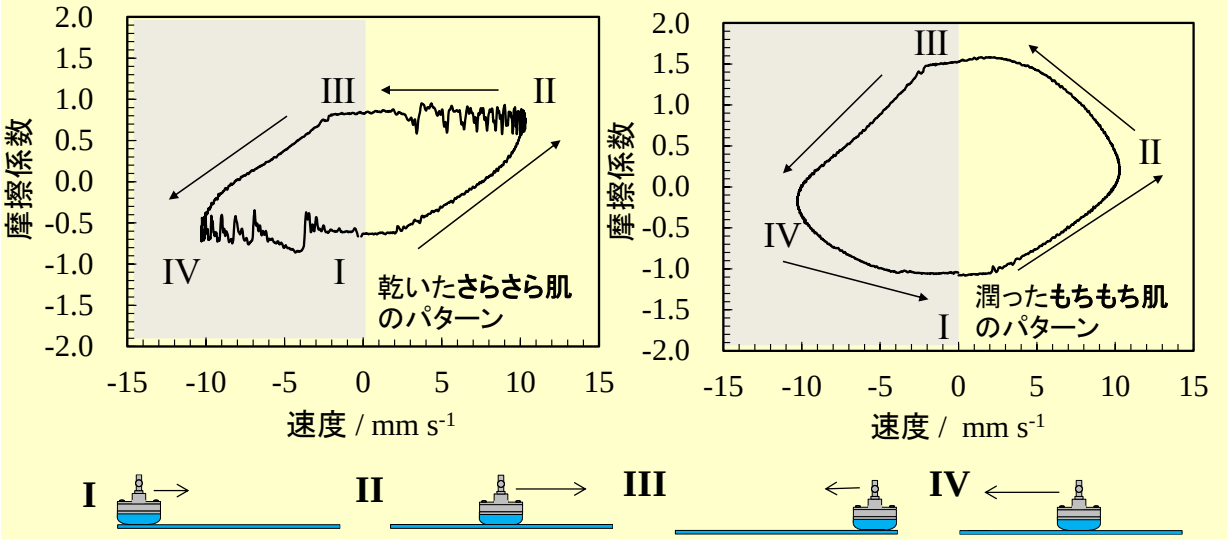
保湿剤のスキンケア効果を評価できる?

　化粧品によって皮膚が潤ったり、トリートメントによって毛髪が滑らかになるケア効果を評価可能。
　グリセリン(保湿剤)によって皮膚が潤うと、もちもち肌に特有の摩擦パターンが発現。

保湿剤を塗った皮膚を評価



さらさら肌ともちもち肌の摩擦プロファイル



Y. Sakata et al., *Int. J. Cosmet. Sci.*, **2022**,*44*, 20.

植物油脂でコーティングした木材のなめらか感

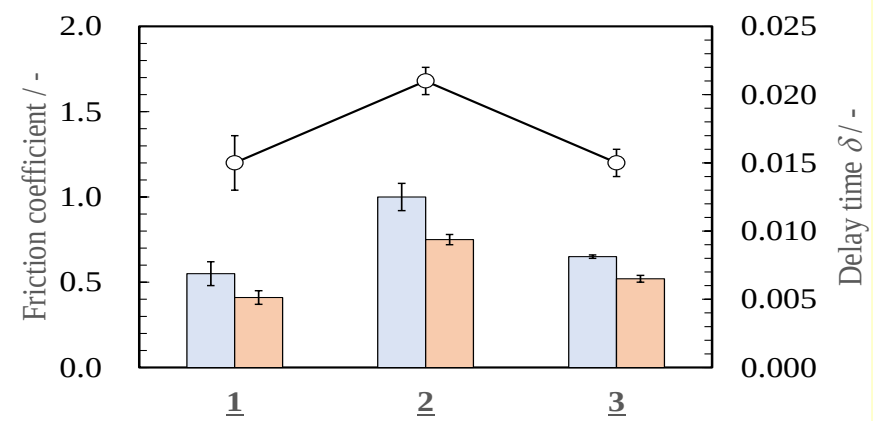
オスモ&エーデル社と学術論文を共同発表

植物油脂による表面処理は摩擦抵抗とその変動を小さくした。この現象は表面エネルギーの低下によって引き起こされ、滑らかな触感を喚起する可能性が示唆された。

塗料を塗った木材の特性

	1 Vegetable oil	2 Polyurethane	3 Untreated
Appearance			
Color measurement			
L^*	53.56	54.47	61.18
a^*	10.06	8.6	6.98
b^*	24.69	22.18	20.83
Gloss	5.7 ± 0.6	77.0 ± 0.0	1.0 ± 0.3
Thermal property			
q-max / W cm^{-2}	0.252 ± 0.009	0.218 ± 0.018	0.150 ± 0.006
Wear resistance			
Abrasion loss / mg	9 ± 1	10 ± 1	5 ± 1
Wettability (Water)			
Contact angle / °	79.6±0.6	65.6 ±0.9	38.3 ± 5.0

摩擦特性



※木材にはオーク材を用いた。また、植物油由来の表面処理剤の組成は以下の通り：　油剤 (40 wt%; ヒマワリ油、大豆油、 アザミ油）　ワックス (10 wt%; カルナバワックス、キャンデリラワックス）　溶剤 (40 wt%; 脱芳香族ホワイトミネラルオイル)

Y. Nonomura *et al.*, *J. Oleo Sci.*, **2021**, 70(12), 1777-1782.

今後の展望

・本システムを化粧品･自動車・繊維・バーチャルリアリティなどの様々な分野に展開。

・手触りの良い繊維や塗り心地の良い化粧品、高級感を感じされる自動車用材料、よりリアルなバーチャルリアリティシステムや触覚を感じるヒューマノイド型ロボットの開発に貢献

・あやふやなまま進められがちな触覚センシングの標準的な評価法となるよう、さらなる改良。

出展展示会名

・第11回化粧品産業技術展　(CITE Japan 2023、5月17日（水）～19日（金）、パシフィコ横浜)

・トライボロジー会議2023　(5月29日(月)～31日(水)、国立オリンピック記念青少年総合センター)

開発の経緯

2013　・本システムのコンセプトを提案、JST研究成果最適展開支援プログラム「FSステージ探索タイプ」に採択　*山形大*

　　・本システム第1号を試作　*山形大・トリニティーラボ*

2014～2016
　　・摩擦データに基づいた触感の解析法を確立　*山形大*

2016　・文科省科研費 新学術領域研究に採択　*山形大*

2017　・本システム第2号を試作　*山形大・トリニティーラボ*

2017~　・肌に触れる商品を開発する企業と連携して共同研究を展開　*山形大*

2020～　・システムの実用化検討　*山形大・トリニティーラボ・東京都産技研*

2023 5月
　　・システムの発売

お問い合わせ

- 山形大学　野々村美宗
  学術研究院　教授（化学･バイオ工学分野）
  TEL 0238-26-3164　　メール nonoy＠yz-yamagata-u.ac.jp
  HP https://nonomura.yz.yamagata-u.ac.jp/

- (株)トリニティーラボ　中田晃平
  営業技術
  TEL 03-6280-3232　　メール：postmaster@trinity-lab.com
  HP https://trinity-lab.com/

- 東京都立産業技術研究センター　大原 衛
  企画部　経営企画室
  TEL 03-5530-2521　　メールkoho@iri-tokyo.jp
  HP https://www.iri-tokyo.jp/

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和5年（2023年）4月6日

高大連携授業による探究活動の促進

～山形大学と米沢興譲館高等学校の相互連携の試み～

【本件のポイント】

- 平成31年度から高大連携授業として大学３年生と高校２年生が相互に連携をしながら課題解決型学習を行う先駆的な授業を実施しています。
- 大学生が高校生の研究相談にのり，高校生の探究活動に大学生が刺激を受けるという，双方向型の高大連携授業を日本で初めて実現しました。
- 大学生と高校生がそれぞれの視点で課題解決を行うことで相乗効果を生み出す，新しい教育環境の発展が期待されます。

【概要】

山形大学人文社会科学部と米沢興譲館高等学校では，高大連携授業として大学３年生と高校２年生が相互に連携をしながら課題解決型学習を行うという，新たな試みを平成 31 年度から行なってきました。これまでの実施から、複数の学問領域の学生が参加しやすい環境を作り出し，現実社会と同様の正解のない問題解決を行うことの重要性，大学生が高校生に教えることによる有効性がわかりました。この先駆的な高大連携授業の取り組みは、教育専門誌「月刊 先端教育」（2023 年 3 月号）等でも取り上げられました。今後は，自治体や研究所と連携した実践的な課題解決や，大学生と高校生の共同研究など，先駆的な高大連携授業の開発・実践を進めていきます。

【背景】

平成 29 年に人文学部は人文社会科学部に改組を行いましたが，地域企業や自治体関係者から大学に要望のあった「実社会で生きるための力」を身につけることが改組の柱となっていました。学問的な知識を踏まえつつ社会の中で活躍できる人材を養成するため，従来は手薄だった技能科目・実践科目の強化・導入が行われ，新たな実践科目として「課題演習（地域情報）」（担当教員：大杉尚之，本多薫，山本陽史，小林正法）を開講しました。一方，県全体の方針もあって県内の高校では積極的に探究を実践しており，県内のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として探究の蓄積がある米沢興譲館高等学校の 2 年生と人文社会科学部の 3 年生がともに探究を行う連携授業の実施に至りました。

【授業手法・授業成果】

この授業は，大学生が，地域課題等に関する研究テーマを策定し，地域，社会，人間の間に生じる問題について認知・人間工学実験や，統計的調査などの科学的な手法で解決する力を修得することを目指すものでした。研究プロジェクトをグループまたは個人で実施し，半年間かけて研究論文の選定，実験プログラムや調査アンケートの作成，実験や調査の実施，分析，ポスター発表等を行いました。その中で，大学生と高校生が顔合わせを行い，高校生の研究相談を大学生が引き受ける，双方の研究発表会に参加し，意見交換を行うなどの連携を行いました。これまでの実施から、複数の学問領域の学生が参加しやすい環境を作り出し，現実社会と同様の正解のない問題解決を行うことの重要性，大学生が高校生に教えることによる有効性が分かりました。この授業の詳細、高大連携の今後の課題への提言や高大連携授業が果たす役割についての展望は、論文（大杉尚之・本多薫・山本陽史・小林正法.(2021). 高大連携授業を通じた探究活動の相互連携の試み　ー山形大学と米沢興譲館高等学校を事例としてー. 山形大学大学院社会文化システム研究科紀要, 18, 37-50.）で説明しています。

【今後の展望】

今後は，自治体や研究所と連携した実践的な課題解決や，大学生と高校生の共同研究など，先駆的な高大連携授業の開発・実践を進めていきます。

学術研究院 准教授 大杉尚之(認知科学)
TEL 023-628-4862
メール tosugi@human.kj.yamagata-u.ac.jp

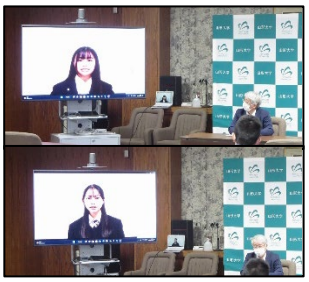
配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和5年（2023年）4月6日

第16回山形大学高校生朗読コンクール出場者募集



令和４年度第15回山形大学高校生朗読コンクール
山形大学長賞受賞コメントの様子

【本件のポイント】

- 第16回山形大学高校生朗読コンクールの出場者を募集します。
- 令和5年度は予選・本選とも録音審査により開催します。
- 基盤共通教育「イベントマネジメントとプレゼンでみがく社会人基礎力」を受講する本学学生が、本コンクールの企画・運営を授業の一環として行います。

【概要】

山形大学は、東北６県の高校生の文化交流を支援することを目的に、第 16 回山形大学高校生朗読コンクールを開催します。

令和５年度は、予選・本選とも録音審査により開催し、予選課題は、福島県出身の妻・智恵子との思い出を綴った高村光太郎の作品「智恵子抄」を取り上げます。

本コンクールの企画・運営は、基盤共通教育「イベントマネジメントとプレゼンでみがく社会人基礎力」を受講する本学学生が授業の一環として行い、予選・本選の録音審査は、山形大学教員で構成した審査委員会が行います。

昨年度に開催した第 15 回山形大学高校生朗読コンクール本選（録音審査）の出場者の朗読を、YouTube 山形大学公式チャンネルにより一般公開中です（令和５年６月 30 日（金）まで公開予定）。

本コンクールは、例年たくさんの高校生に応募していただいており、昨年度は 13 校から 48 名の応募がありました。今年度も東北地方の多くの高校生の応募をお待ちしております。

【予選について】

・課題文「智恵子抄」（高村光太郎）の朗読データを提出する録音審査により開催します。
・応募方法等の詳細は別紙チラシをご参照ください。

【本選について】

・予選審査を通過した高校生 10 名程度が出場できます。
・本選の上位３名を山形大学学長賞として表彰し、記念品を進呈します。
・本選の朗読は、YouTube 山形大学公式チャンネルにより公開します（令和６年６月 30 日(日)まで公開予定）。
・本選出場者の氏名、所属高校、学年及び録音データを一般公開しますので、その旨ご了承の上でご応募ください。

【開催日程】

６月 23 日（金）迄	予選課題録音データの提出締切（当日消印有効）
７月 28 日（金）頃	予選審査の結果と合わせて予選通過者へ本選を通知
８月 25 日（金）迄	本選課題録音データの提出締切
９月 29 日（金）頃	本選結果の通知

【 参　考 】

第 15 回高校生朗読コンクール本選（令和５年６月 30 日(金)まで公開）
YouTube 山形大学公式チャンネル ＜ https://youtu.be/koj77gA-kws ＞

（応募・お問合せ）
山形大学研究情報部　高校生朗読コンクール事務局
〒990－8560　山形県山形市小白川町一丁目４－12
TEL：023-628-4844　　メール： yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学
Yamagata University

令和5年度 第16回山形大学高校生朗読コンクール

出場者募集

予選課題

高村光太郎「智恵子抄」

第16回を迎える山形大学高校生朗読コンクール、今年の予選課題は詩人で彫刻家であった高村光太郎の作品を取り上げます。
予選課題文は福島県二本松出身の妻・智恵子との思い出を詩と散文で綴った「智恵子抄」から選びました。
例年たくさんの高校生に応募をいただいている本コンクール。
今回も東北地方の多くの高校生の応募をお待ちしております。

東北6県の高校生から出場者を募集します

※令和5年度は予選・本選とも録音審査により開催します。

予選について

課　　題:高村光太郎「智恵子抄」
（ページ数は現行の新潮文庫版に基づく）
133ページ4行目「東京の空気は彼女には常に無味乾燥でざらざらしていた。」より
135ページ6行目「彼女はそのレモンに歯を立てて、すがしい香りと汁液とに身も心も洗われているように見えた。」まで。
開催方法:録音審査
締　　切:令和5年6月23日（金）（郵送の場合は当日消印有効）

応募資格

高等学校、中等教育学校に在学中の生徒又は高等専門学校（1年生から3年生まで）に在学中の学生で、下記①、②のいずれかの条件を満たす者。
①東北6県に在住　②東北6県の学校に在学
※同一学校からの応募人数制限は設けません。

本選について

課　　題:本選も高村光太郎「智恵子抄」の予選と同じ箇所を出場者全員に朗読していただく予定です。
開催方法:録音審査
※本選の朗読については、YouTube山形大学公式チャンネルによる公開を予定しています。
日　　程:7月28日（金）頃　予選審査の結果と合わせて予選通過者へ本選課題を通知
8月25日（金）まで　本選課題録音データの提出
9月29日（金）頃　本選結果の通知

第16回山形大学高校生朗読コンクール
主催:国立大学法人山形大学

裏面に予選募集要項等があります→

令和５年度 第16回山形大学高校生朗読コンクール
高村光太郎「智恵子抄」

東北６県の高校生から出場者を募集します

◎予選募集要項

応募資格
高等学校、中等教育学校に在学中の生徒又は高等専門学校（１年生から３年生まで）に在学中の学生で、下記①、②のいずれかの条件を満たす者。
①東北６県に在住　②東北６県の学校に在学
※同一学校からの応募人数制限は設けません。

予選課題
高村光太郎「智恵子抄」（ページ数は現行の新潮文庫版に基づく）
133ページ４行目「東京の空気は彼女には常に無味乾燥でざらざらしていた。」より
135ページ６行目「彼女はそのレモンに歯を立てて、すがしい香りと汁液とに身も心も洗われているように見えた。」まで

審査方法
山形大学教員で構成した予選審査委員会が、提出された音声データによって審査します。

応募方法
上記課題文を朗読・録音し、以下フォームよりWebにより提出、または下記の応募・お問合せまで郵送にて提出してください。なお、郵送による提出の場合、記録メディアは、CD－R/USBメモリのいずれかとします（音声データファイルで保存）。メディアには氏名を明記してください。メディアは衝撃からの保護を施して、「高校生朗読コンクール応募」と朱書した封筒に入れてください。

申し込みフォーム
URL: https://em-q.kj.yamagata-u.ac.jp/index.php/461557

応募締切
令和5年6月23日（金）（当日消印有効）

備　　考
- 郵送での応募の場合、以下の項目について記した紙を同封してください。書式は自由です。
  ①氏名（よみがな）　②学校名、学年　③住所・郵便番号
  ④連絡の取れる電話番号及び電子メールアドレス
  ⑤（学校で取りまとめてご応募の場合）担当教員の氏名（よみがな）、電話番号及び電子メールアドレス
  ※記載情報は本コンクールの審査及び本学からの連絡のみに用い、他用途は使用いたしません。
- 音声データの最初に、学校名、学年及び氏名を録音してください。
- 予選の録音メディアの費用及び郵送料は、応募者の自己負担とします。
- 予選で大学に送付された記録メディアは返却せず、本選後録音を消去します。
- 予選審査の結果については、７月２８日（金）頃に、個人でご応募いただいた場合は③住所へ、学校でとりまとめて応募いただいた場合は学校へ郵送でお知らせします。
- 予選通過者は本選に出場となります。
- 課題文中の地名や人名等の固有名詞の難読語等の読み方に限り、メールでの問合せに応じます。
  （問合せ先：yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp）

◎本選について

課　　題
本選も高村光太郎「智恵子抄」の予選と同じ箇所を出場者全員に朗読していただく予定です。

開催方法
録音審査　※本選の朗読については、YouTube山形大学公式チャンネルによる公開を予定しています。

日　　程
７月28日（金）頃　　予選審査の結果と合わせて予選通過者へ本選課題を通知
８月25日（金）まで　本選課題録音データの提出締切
９月29日（金）頃　　本選結果の通知

備　　考
- 本選の審査は、山形大学教員で構成した審査委員会が行います。
- 本選の上位３名を山形大学学長賞として表彰します。
- 表彰者へは、賞状等の記念品を進呈いたします。

《本選のYouTubeによる公開について》
- 本選については、本選出場者の活躍を多くの方々にご覧いただきたく、YouTube山形大学公式チャンネルによる一般公開を予定しています（令和６年６月30日（日）まで公開予定）。
- 本選出場者の氏名、所属高校、学年及び録音データの個人情報を一般公開させていただきますのでご理解とご了承の上、ご応募願います。
- 本選出場者の名誉等の保護のため、YouTube山形大学公式チャンネルは、第三者が評価やコメント等の機能を利用できない設定で公開します。

（参考）令和４年度　第15回山形大学高校生朗読コンクール本選（令和５年６月30日（金）まで公開予定）
https://youtu.be/koj77gA-kws

応募・お問合せ先　山形大学研究情報部　高校生朗読コンクール事務局　〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
Tel：023-628-4844　　E-mail：yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
※電話によるお問合せは、平日9:00～17:00にお願いします。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和5年（2023年）4月6日

山形の「記憶」を一堂に公開する「山形アーカイブ」が完成！

～山形市郷土館・最上義光歴史館など山形県内の資料保存機関も参加～

【本件のポイント】

- 山形大学附属博物館が令和4年（2022年）に立ち上げたプロジェクト「地域の記憶「共創」アーカイブ～まちと人の未来のために～」の成果として、山形の「記憶」を一堂に公開するデジタルアーカイブ「山形アーカイブ」が完成しました。
- 「山形アーカイブ」は、山形県内の資料保存機関が所蔵する資料のデジタルデータを横断的に閲覧することができる、山形大学初・山形県内初・全国の大学博物館初の試みです。サイト構築には、博物館と包括連携協定を締結した合同会社AMANEと、古地図ビューアライブラリ「Maplat」を開発した「Code for History」の協力を得ました。
- 「山形アーカイブ」が充実すれば、歴史教育・生涯学習・まちづくり・観光・文化財保護・防災など、さまざまな地域の課題の解決に役立てていただくことができるようになります。

【概要】

山形大学附属博物館は、令和 4 年（2022 年）、山形大学基金の「やまがた未来へつなぐプロジェクト」として、山形市中心市街地の江戸時代から現代までの変化を、現在の街並みの写真やオーラル・ヒストリー（人々の証言）、博物館が収集してきた資料などをデジタル化してインターネット上で共有し、山形大学の学生が地域に愛着を持つきっかけとなることや、まちづくりに取り組む方々に役立てていただくことなどを目的として、「地域の記憶「共創」アーカイブ～まちと人の未来のために～」を立ち上げました。今回はその成果の第一弾として、山形市内の資料保存機関が所蔵する山形地域の資料を一堂に閲覧できるデジタルアーカイブ「山形アーカイブ」を作成・公開しました。

今回公開する「山形アーカイブ」は、山形大学附属博物館が所蔵・収集した地図 15 点・絵葉書 627 点・絵画 56 点・写真 119 点のほか、山形市郷土館が所蔵する地図・写真等 215 点、最上義光歴史館が所蔵する刀剣等 20 点の画像を掲載しています。山形県内の資料保存機関が所蔵する資料を横断的に閲覧することができる、山形大学初・山形県内初・全国の大学博物館初の試みです。また、山形大学附属博物館と包括的連携協定を締結した合同会社 AMANE（https://amane-project.jp/）と、古地図ビューアライブラリ「Maplat」を開発した「Code for History」（https://code4history.dev/）の協力のもと、過去の地図と現在の地図を比較できる地図アプリも構築し、「山形アーカイブ」に登載しました。

今後、七日町商店街（山形まちづくり株式会社）の協力のもと、山形大学の学生が組織する「まちの記憶を残し隊」の収集した街並みの写真や人々のインタビューも順次加えていく予定です。また、地図アプリも地図を充実させるとともに、地図上で過去の風景・建物などを確認できるようなものへとアップデートしていきます。「山形アーカイブ」のさらなる充実と関係機関との連携の強化、活用策の開発を進めることで、歴史教育・生涯学習・まちづくり・観光・文化財保護・防災など、さまざまな地域の課題に対応可能なデジタルアーカイブの構築を目指します。

【山形アーカイブ】

■ URL ： https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/

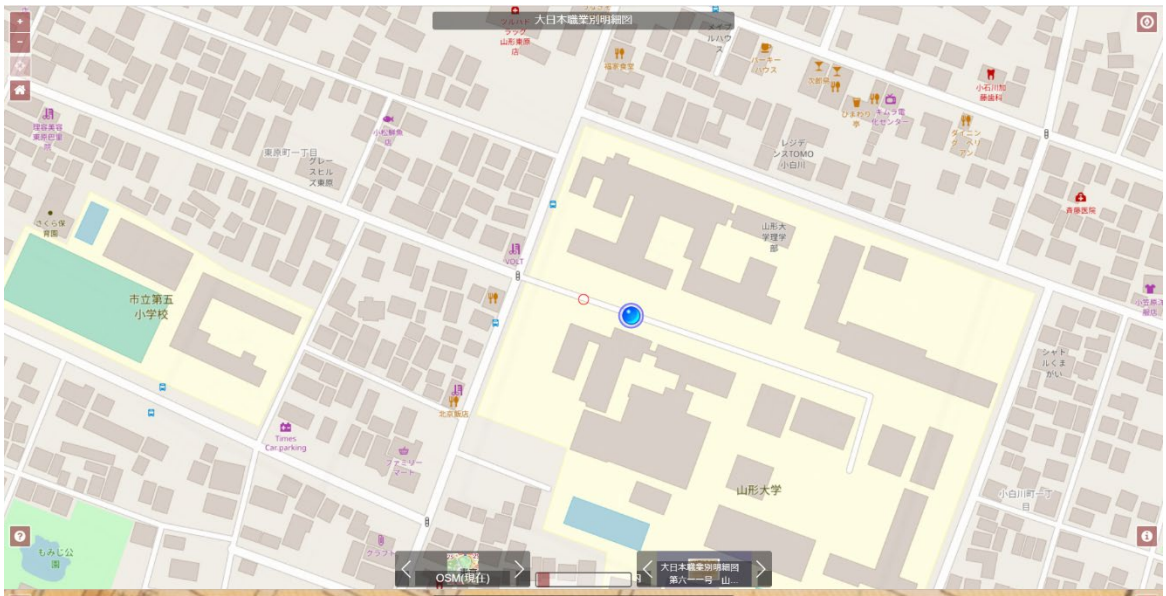
■ 地図アプリ ： https://cherry.yum-archives.net/maplat/

お問い合わせ
学術研究院准教授（人文社会科学部主担当・附属博物館学芸研究員） 小幡圭祐
メール：obata@human.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

※「山形アーカイブ」

※「山形アーカイブ」で同時公開する地図アプリ（現在の地図と過去の地図を中央下部のスライダーで切り替え可能。現在地が青い丸で示されており、スマホなどで出先で気軽に現在地と過去の地図が比較できる）



配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【背景】

山形大学の位置する山形市は、景気の低迷やコロナ禍などを背景に、店舗の閉店や再開発でまちの様子は刻一刻と変化しています。それゆえ、現状を座視していたのでは、景観や人々の思いなど、未来に残すべきかけがえのない地域の「記憶」は失われてしまいます。そこで令和 4 年（2022 年）、山形大学附属博物館では、山形市中心市街地の江戸時代から現代までの変化を、資料と写真、オーラル・ヒストリー（人々の証言）、博物館が収集してきた資料などをデジタル化してインターネット上で共有することで、山大生が地域に愛着を持つきっかけとなることや、まちづくりに取り組む方々に役立てることなどを目的として、「地域の記憶「共創」アーカイブ～まちと人の未来のために～」を立ち上げました。

※参考 1：はじめます、未来のまちとひとのためアーカイブづくり ～附属博物館が地域のデジタルアーカイブ構築に着手。キックオフフォーラム開催～（2022 年 2 月学長記者会見）
https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/press/20220203_01/01-2/
※参考 2：地域の記憶「共創」アーカイブをはじめます～第一弾は「三浦新七関連絵葉書アーカイブ」～（2022 年 5 月学長記者会見）
https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/press/20220512/03-21-2/

【これまでの活動と成果】

「地域の記憶「共創」アーカイブ～まちと人の未来のために～」の具体的な活動としては、小幡圭祐（学術研究院准教授（人文社会科学部主担当））の担当する基盤共通教育科目「まちの記憶をアーカイブする」などの授業の履修学生や、小幡が主担当をつとめる人文社会科学部の学生有志を中心に「まちの記憶を残し隊」を組織し、まちの景観やそこに生きる人々の証言などの「記憶」を収集するとともに、七日町商店街（山形まちづくり株式会社）と協力してその成果を発信する「ななはく！」（https://cherry.yum-archives.net/nanahaku/）というイベントを年 2 回開催してきました。

※参考 3：山形大学附属博物館が山形大生と地域の皆さんとともに集めた「まちの記憶」を一挙公開 「ななはく！まちの記憶市（いち）・ボローニャ市（いち）」開催します！（2022 年 9 月学長記者会見）
https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/press/20220908/01-2/
※参考 4：「ななはく！2023 まちの記憶市（いち）・ボローニャ市（いち）ソーレ」開催！（2023 年 2 月学長記者会見）
https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/press/20230203/01-21-2-2/

大学博物館が地域の「記憶」を恒常的に収集するという珍しい試みは、小幡と本多広樹（学術研究院准教授（人文社会科学部主担当））が実施したデジタルアーカイブ学会第 7 回研究大会での研究発表「地域アーカイブのレコード・マネジメント確立の試み：山形大学「まちの記憶を残し隊」の実践から」が座長によるベスト発表に選定されるなど、学界でも注目を集めています。

※参考 5：地域アーカイブのレコード・マネジメント確立の試み：山形大学「まちの記憶を残し隊」の実践から
https://doi.org/10.24506/jsda.6.s3_s127

【今後の展望】

今後、七日町商店街（山形まちづくり株式会社）の協力のもと、山形大学の学生が組織する「まちの記憶を残し隊」の収集した街並みの写真や人々のインタビューも順次加えていく予定です。また、地図アプリも地図上で過去の風景・建物などを確認できるようにアップデートしていきます。「山形アーカイブ」のさらなる充実と関係機関との連携の強化、活用策の開発を進めることで、歴史教育・生涯学習・まちづくり・観光・文化財保護・防災など、さまざまな社会課題に対応可能なデジタルアーカイブの構築を目指します。

また、オープンサイエンスをテーマとした日本最大のカンファレンス「ジャパン・オープンサイエンス・サミット 2023（Japan Open Science Summit 2023、JOSS2023）」（2023 年 6 月 19 日（月）～ 23 日（金）オンライン形式 主催：国立情報学研究所 科学技術振興機構 他）において、セッション「born-digital 地域資料の収集と継承を考えるセッション」を山形大学附属博物館と合同会社 AMANE が共同で実施します。本セッションでは、市民が所有するスマホ内の写真デジタルデータなどを born-digital な地域資料（Born-Digital Regional Memory：BDRM）として定義し、それらの継続的な収集・保存・公開に関して様々な分野の専門家と議論を行います。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

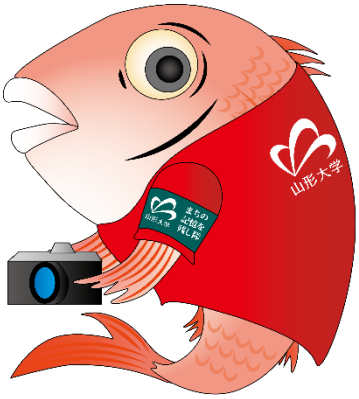
PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和5年（2023年）4月6日

山大生が地域の「記憶」のアーカイブ化に本格的に着手！

「山形大学まちの記憶を残し隊」の腕章



マスコットキャラクター「隊のおかしら」

【本件のポイント】

- 令和4年より山形大学附属博物館の事業「地域の記憶『共創』アーカイブ」の一環として、基盤共通教育科目の授業の履修学生が、街並みの撮影や街の人々のインタビューに取り組んできました。
- 今回、人文社会科学部と理学部の学生有志が、令和5年3月1日にサークル（登録団体）として「山形大学まちの記憶を残し隊」の結成を届け出ました。マスコットキャラクターとして「隊のおかしら」も爆誕しました。
- 今後、本サークルに所属する学生も、地域や大学と協力して未来に残すべき「記憶」を収集していきます。ゆくゆくは公認サークルに成長し、他キャンパスへも活動を波及・拡大させていこうと考えています。

【概要】

令和４年（2022 年）より山形大学附属博物館が未来に残すべきかけがえのない地域の「記憶」を残すべく「地域の記憶『共創』アーカイブ」という事業を立ち上げました。これまでこの事業は、基盤共通教育科目「まちの記憶をアーカイブする」の授業の一環として、履修学生が「まちの記憶を残し隊」を組織してまちの景観やそこに生きる人々の証言などの「記憶」を収集するなど、あくまで教員や博物館が主導するものであり、そのうえ授業期間という制約もありました。

今回、このような活動に共鳴した本学学生有志が、山形地域の風景・景観やそこに生きる人々の証言、山形大学の活動（特に学生活動）の記録を日常的に、かつ広範囲に亘って収集し、山形大学附属博物館に保存することで、かけがえのない地域の「記憶」を未来に残していくために、令和５年（2023 年）３月１日にサークル（登録団体）として「山形大学まちの記憶を残し隊」の結成を届け出ました。提出時の構成員は人文社会科学部４名と理学部２名の計６名です。

今後は、授業の履修学生だけではなく、本サークルに所属する学生も「山形大学まちの記憶を残し隊」として、地域や大学と協力して未来に残すべき「記憶」を収集していきます。現在の構成員は小白川キャンパスが中心ですが、ゆくゆくは公認サークルに成長し、他キャンパスへも活動を波及・拡大させたいと考えています。

【「山形大学まちの記憶を残し隊」のSNS・キャラクター情報】

■ Twitter ： https://twitter.com/nokoshitai2023

■ Instagram ： https://www.instagram.com/machinokiokuwonokoshitai/

■ マスコットキャラクター ： 隊のおかしら ※制作＝小幡圭祐（「山形大学まちの記憶を残し隊」顧問）

お問い合わせ
学生サークル「山形大学まちの記憶を残し隊」
メール：machinokiokuwonokoshitai@gmail.com

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和5年（2023年）4月6日

ヤマガタステムアカデミー4期生募集開始！

～令和4年度の現役生の素晴らしい活躍～

【本件のポイント】

- 地域の子どもたちが、科学のみならずSTEM分野について体験し学ぶ通年型プログラム「ヤマガタステムアカデミー」の4期生の募集が開始しました。
- 当プログラムは、人類の未来に役立つ産業を生み出す、創造力豊かな理系人材を育成することを目標に、小学校5年生～中学生（定員40名/年）を対象として1年間無料で大学の先生や企業の人の講座を受講できるのがポイントです。受講者には1人1台iPadを貸し出し、ICTを活用したプログラムも充実しています。
- 1年間のプログラム（マスターコース）を修了した中から10名が選抜され（ドクターコース）、自分の興味のある研究テーマについて研究するコースも設置しています。
- 令和4年度は、ドクターコースの受講者2名がサイエンス・カンファレンス2022に出場し、アイデア賞とチャレンジ賞を受賞しました。西塚弘仁朗くん（当日登壇・研究内容を紹介）は小学校1年生から継続してきた「豆の発芽に必要な最小限の水の条件」というテーマでチャレンジ賞を受賞しました。
- 当プログラムの修了生の中には、高校生になっても自由研究を継続し、全国大会で金賞受賞、世界大会を目指す修了生もいます。
- 令和5年度の募集締切は2023年5月1日（月）17時です。チラシに記載のQRコード（公式HPにもQRコードがございます：https://yamagata-steam-academy.com/）より応募できます。応募者を選考し、40名がマスターコース生として5月から活動を開始します。将来科学者を目指すそこの君！ヤマガタステムアカデミーで人生の財産になる一生忘れられない経験をしたい方、ぜひご応募ください！

【概要】

小学校５年生～中学生を対象とした通年型プログラム「ヤマガタステムアカデミー」の４期生の募集が開始しました。当プログラムは、創造力豊かな理系人材を育成することを目標に、大学の先生や企業の人から様々な講座を受講することができます。１年間プログラムを受講したマスターコース生の中から 10 名が選抜され、自分の興味のある研究テーマを進めるドクターコース生になります。令和４年度はサイエンス・カンファレンス 2022 にて西塚弘仁朗くんがチャレンジ賞を受賞し、修了生の中には高校でも研究を継続し、全国大会で金賞、世界大会を目指す子もいます。応募はチラシの QR コードか公式ＨＰから。募集締切は 2023 年５月１日 17 時までです。ヤマガタステムアカデミーで人生の財産になる一生忘れられない経験をしたい方、ぜひご応募ください！

※用語解説

１．ステム（STEM）：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering(工学)、Mathematics（数学）の頭文字を取った教育概念。STEM 分野を統合的に学び、実社会での問題発見・課題解決に活かしていくための分野横断的な教育です。

お問い合わせ　：ヤマガタステムアカデミー事務局
TEL：023-628-4517（SCITA センター内）
メール ysacademy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学
Yamagata University

小学５・６年生および中学生対象

ヤマガタステム(STEM)アカデミー

Yamagata STEM Academy

令和５年度 マスターコース第４期生募集中！

- S … Science〈科学〉
- T … Technology〈技術〉
- E … Engineering〈工学〉
- M …Mathematics〈数学〉

現代社会で私たちが直面するさまざまな問題を解決するためには、STEM(ステム)分野を統合的に学ぶことが重要であると考えられています。
ヤマガタステムアカデミーでは、科学だけでなく、STEM 分野について広く学んでいきます。

■ヤマガタステム（STEM）アカデミーって？

持続可能でよりよい社会（SDGs）を目指すために必要な科学技術（STEM）を理解し、人類の未来に役立つ産業を生み出す、想像力豊かな理系人材を育成する教育プログラムです。
理科・算数・数学好きの小中学生の科学的思考力や論理的思考力、情報活用能力を伸ばすプログラムを、山形大学と連携機関が提供します。次年度には受講生から選抜された 10 名が第２段階（ドクターコース）へと進み、自分の興味のある研究テーマについて研究を行います。

■ICT を活用したプログラム

事前学習や課題の提出、先生や学生とのコミュニケーション、受講生同士の情報交換などに iPad と Google for Education を活用します。また、大学での講座だけでなくオンラインでも講座を行います。受講生には１人１台 iPad を貸し出します。

共通講座スケジュール（予定）※変更となる場合があります。

日時	講座タイトル	場所
5 月 21 日（日）	開校式・オリエンテーション	山形大学
6 月 10 日（土）	SDGs ってなんだろう？	山形大学
6 月 17 日（土）	最強で最高なタワー作りコンテスト！	山形大学
7 月 9 日（日）	電池を作ろう！	山形大学
8 月 6 日（日）	電子顕微鏡の世界を見てみよう！	山形大学
8 月 19 日（土）	プログラミング体験－micro:bit を使いこなそう！－	山形大学
11 月 12 日（日）	光るタンパク質を見てみよう！	山形大学
12 月 16 日（土）	高校生はどんな研究をしているのかな？（山形県探究型学習課題研究発表会参観）	山形ﾋﾞｯｸﾞｳｲﾝｸﾞ
12 月 23 日（土）	SDGs 未来の都市づくり	山形大学
12 月 24 日（日）	アカデミーからの挑戦状！	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ講座
1 月 20 日（土）	AI（人工知能）を育ててみよう！	山形大学
3 月 10 日（日）	研究計画プレゼンテーション	山形大学

この他にも,フィールドワークや別のキャンパスへ行っての講座などなど盛りだくさん！
詳しくは裏面をチェックしてね！

※できる限りの感染防止策を講じた上で実施いたします。
※この事業は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による「ジュニアドクター育成塾」事業に採択されています。

※お申込み方法等については裏面をご覧ください

令和５年度 ヤマガタステム(STEM)アカデミー マスターコース 募集要項

◆対　　象：**小学５年生から中学３年生　40 名程度**
※毎月２回程度、土曜日または日曜日に山形大学などで開催される講座に参加できる方。
※自宅のインターネット環境が整っており、オンライン講座等に参加できる方。

◆募集エリア：**山形県内すべての小学校・中学校（山形大学附属小学校・中学校も含む）および隣県の小学校・中学校**

◆費　　用：受講料は無料です。ただし、山形大学までの交通費と通信料は受講者にてご負担ください。

◆応 募 方 法：**右の QR コードよりお申込みフォームへアクセスいただき、必要事項を入力の上、お申込みください。**
お申込みフォーム URL：https://forms.gle/ty3Xi9H7oQBWwgRx8

◆選 考 方 法：**①事前課題（400 字程度の作文２種類）**
※記入用紙は応募いただいた方にメールにてお送りいたします。
５月８日(月)17 時必着でメールまたは郵送にて提出してください。（郵送先は別途お知らせします）
②個人面接　※面接方法（直接またはオンライン面接）をお選びください。

◆選　考　日：**令和５年５月 14 日(日)**　※面接時間については個別にメールにてご連絡いたします。

◆選 考 場 所：山形大学小白川キャンパス　理学部（オンライン面接の場合は自宅）

◆応 募 締 切：**令和５年５月１日(月) 17 時**

【お問い合わせ】
◆メール：ysacademy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp
◆電　話：023-628-4517（平日８時 30 分～17 時）※土日祝日は対応しておりません。
◆ヤマガタステム(STEM)アカデミーホームページ：https://yamagata-steam-academy.com/

おもて面の共通講座以外にも、以下のような様々な**選択講座**をご用意しています。（参加自由・各回人数制限があります。）他の受講生や大学生とも仲良くなれて、ワクワクできる体験がたくさんできるはず！みなさんの参加をお待ちしています！

加茂水族館で学ぼう！

■日時：７月 15 日（土）
■場所：加茂水族館
※小白川キャンパスに集合し、バスで現地へ向かいます

世界を救う昆虫?! 農学部の先生の研究を体験してみよう！

■日時：①9 月２日（土）
②9 月 16 日（土）
※2 回とも参加できる方に限ります
■場所：小白川キャンパス

山形 地学ハイキング

■日時：10 月 29 日（日）
■場所：山寺（予定）
※現地集合になります

農学部の先生と一緒に、昆虫や動物、森林や植物について学ぼう！

■日時：未定（複数回実施予定）
■場所：鶴岡キャンパス
※後日日程や詳細をお知らせします

粘菌を探そう！

■日時：10 月９日（月）
■場所：山形市野草園
※現地集合になります

ロボットを作って プログラミングで動かそう！

■日時：①12 月３日（日）
②12 月９日（土）
③12 月 17 日（日）
３回とも参加できる方に限ります
■場所：小白川キャンパス

ヤマガタステムアカデミー4期生募集開始！

～令和4年度の現役生の素晴らしい活躍～

ヤマガタステムアカデミーとは？

人類の未来に役立つ産業を生み出す、創造力豊かな理系人材を育成するプログラム

Science（科学）

Technology（技術）

Engineering（工学）

Mathematics（数学）

- ■ 大学の先生や企業の人の体験型講座を受講できる！
- ■ 1人1台iPadを貸し出し、ICTを活用したプログラムも充実！
- ■ 最先端の科学技術を学び、自分の興味のあることを見つけられる！

ヤマガタステムアカデミーとは？

人類の未来に役立つ産業を生み出す、創造力豊かな理系人材を育成するプログラム

【マスターコース】

- ■ 対象：小学校5年生～中学生
- ■ 期間：1年間（月1, 2回）
- ■ 内容：STEMに関する様々なプログラム

「電子顕微鏡の世界を見てみよう！」
「AI（人工知能）を育ててみよう！」
「SDGs未来の都市づくり」
「加茂水族館に行こう！」
「粘菌を探そう！」　…など

【ドクターコース】

- ■ 対象：マスターコースから10人選抜
- ■ 期間：中学校卒業まで
- ■ 内容：自分の興味のある自由研究

自分の興味のある研究テーマについて
大学の先生や連携機関の方から
アドバイスをもらいながら研究を進める！
大学の機材や器具の使用が可能！

令和4年度の現役生の素晴らしい活躍

西塚弘仁朗くん（ドクターコース2期生）

■サイエンスカンファレンス2022に出場し
チャレンジ賞を受賞！

■発表題目は、
「豆の発芽に必要な最小限の水の条件」

豆の発芽に必要な最小限の水の条件

西塚弘仁朗

研究の目的

- 映画「オデッセイ」で、火星に取り残された主人公が科学の知識を使ってじゃがいもを育てている場面を見て、火星で植物を育てることに興味を持ちました。

- 本研究の目的は火星で植物を育てるために、過酷な条件下での植物の成長を知ることです。

１年生：豆の成長と温度の関係

- 室内と冷蔵庫で大正金時豆の成長を観察。
- 成長に明らかな違い（室温＞冷蔵庫）がみられた。
- 豆の成長に温度が重要であることがわかった。

室温　　冷蔵庫

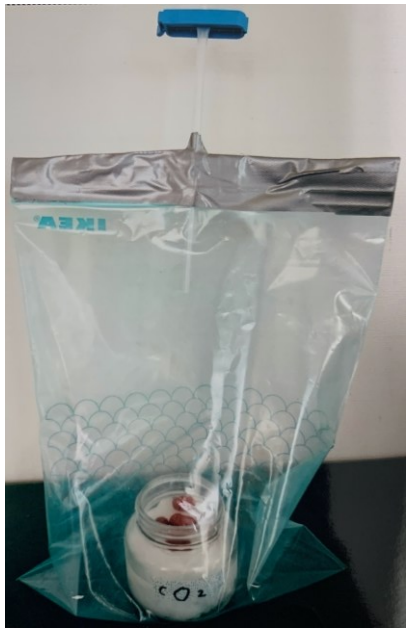
８日目

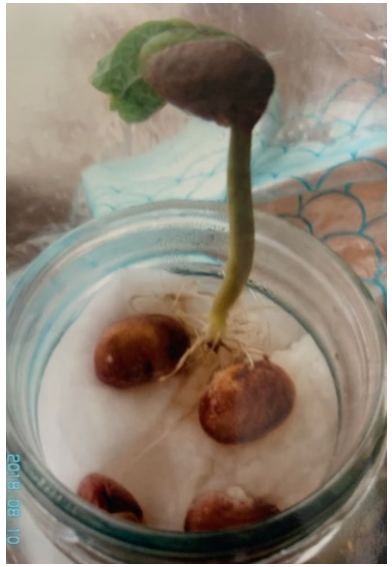
室温　　冷蔵庫

１０日目

２年生：豆の成長と空気の関係

- 空気の違いで成長に違いがあるかどうか調べるため、ジップロックで豆を覆い、呼気をいれながら成長を観察した。
- ジップロック内に呼気を入れて育てた群がよりよく成長した。
- 空気の環境の違いが豆の成長に影響することがわかった。



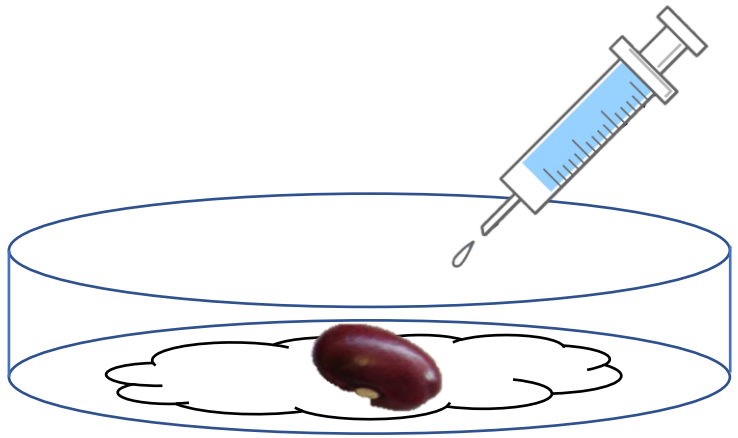


ジップロック（呼気）

室内

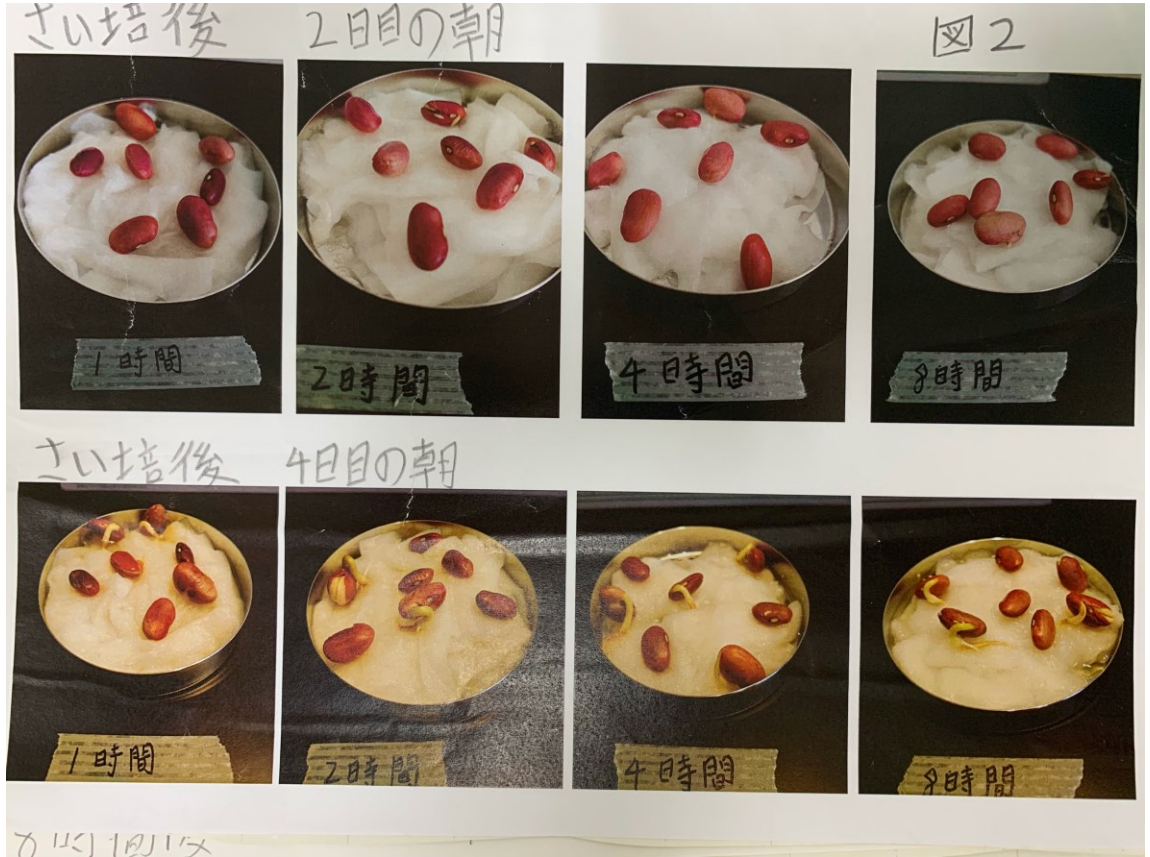
３年生：豆の成長に必要な水の量1

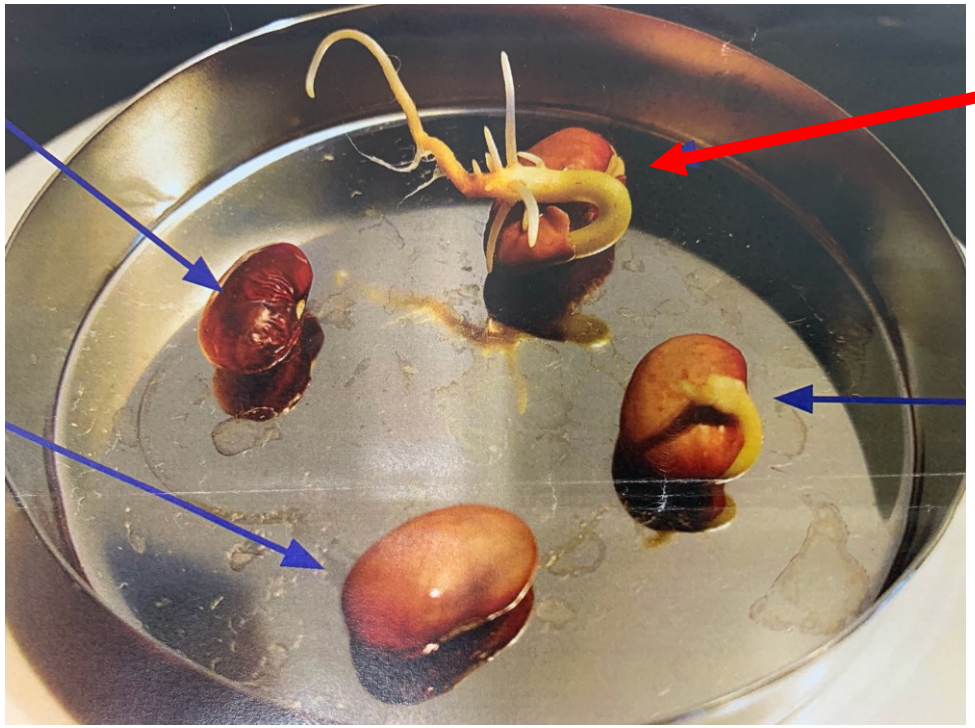
- 少ない水の量で豆が成長するか調べた。
- ３年生：豆に水を浸さずにいろいろな水の量（1~15滴）で栽培したが、水が少なすぎて育たなかった。



４年生：豆の成長に必要な水の量2

- ４年生：栽培前に豆に浸す水の時間を１、２，４，８時間と設定したところ、４時間浸した豆が一番よく育った。

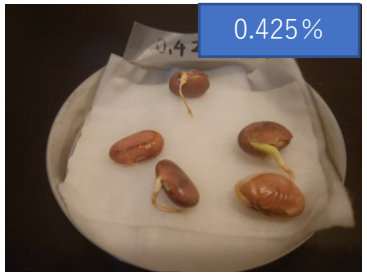




４時間浸した豆が一番よく育った

５年生：豆の成長と塩分濃度の関係

- 塩分濃度の違いで豆の成長に違いが出るかどうか調べた。
- 少しでも塩分があると育ちが悪いことがわかった。



育たない　育たない

海水

汗

少し育つ　少し育つ

よく育つ

育つ

水

塩分濃度	7.5%	5.8%	3.4%	0.9%	0.3-0.9%	0.425%	0.12%	0.05%	0%

6年生：豆の成長に必要な最小限の水の条件

・浸水時間や与える水の量を変えて豆の成長に違いが出るかどうか調べた。

結果:栽培１２日目の豆の成長の様子

水に浸した時間（0.5時間）

水に浸した時間（０時間）

与えた水の量	2ml	4ml	6ml	2ml	4ml	6ml
芽の成長の長さ	0cm	0cm	16cm	2cm	31cm	10cm

ヤマガタステムアカデミーに入って良かったこと

マスターコースでは…

- 定期的な講座や野外活動を通して、幅広い科学の知識を学ぶことができる。
- 自分の興味のある研究を始めるために、研究の進め方について丁寧に教えてもらえる。

ドクターコースでは…

- 専門の先生方からアドバイスをいただき、自分の好きな研究を継続できる。
- 自分の研究を続けるために専門的な機械を貸してもらえる。
- 色々な研究会で発表する機会がある。

ヤマガタステムアカデミー4期生募集開始！

令和５年度 ヤマガタステム(STEM)アカデミー マスターコース 募集要項

◆対　　象：小学５年生から中学３年生　40 名程度
※毎月２回程度、土曜日または日曜日に山形大学などで開催される講座に参加できる方。
※自宅のインターネット環境が整っており、オンライン講座等に参加できる方。

◆募集エリア：山形県内すべての小学校・中学校（山形大学附属小学校・中学校も含む）
および隣県の小学校・中学校

◆費　　用：受講料は無料です。ただし、山形大学までの交通費と通信料は受講者にてご負担ください。

◆応 募 方 法：右の QR コードよりお申込みフォームへアクセスいただき、
必要事項を入力の上、お申込みください。
お申込みフォーム URL：https://forms.gle/ty3Xi9H7oQBWwgRx8

◆選 考 方 法：①事前課題（400 字程度の作文 2 種類）
※記入用紙は応募いただいた方にメールにてお送りいたします。
5 月 8 日(月)17 時必着でメールまたは郵送にて提出してください。（郵送先は別途お知らせします）
②個人面接　※面接方法（直接またはオンライン面接）をお選びください。

◆選　考　日：令和５年５月 14 日(日)　※面接時間については個別にメールにてご連絡いたします。

◆選 考 場 所：山形大学小白川キャンパス　理学部（オンライン面接の場合は自宅）

◆応 募 締 切：令和５年５月１日(月) 17 時

【お問い合わせ】
◆メール：ysacademy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp
◆電　話：023-628-4517（平日 8 時 30 分～17 時）※土日祝日は対応しておりません。
◆ヤマガタステム(STEM)アカデミーホームページ：https://yamagata-steam-academy.com/

対象：小学校5年生～中学生

費用：無料（交通費と通信料は除く）

応募方法：チラシのQRコード
もしくはHPより

応募締切：令和5年5月1日（月）
17時まで

ヤマガタステムアカデミーで人生の財産になる

一生忘れられない経験をしたい小中学生、

ぜひご応募ください！

プレス通知資料（概 要）

山形大学
Yamagata University

令和５年(2023 年) 4 月 6 日
山　　形　　大　　学

＊詳細は別添の資料をご覧ください。

１．地域の日本語教育環境の充実に向けた取り組み～日本語教育者のスキルアップを目指し、岩手秋田・山形が合同で講座を開講～

外国人労働者、留学生の増加にともない、質の保証された日本語教育を行うための体制づくりは急務であり、その専門人材の養成・研修が全国で行われています。常勤日本語教師の数が全国最下位の本県では、専門人材の養成が喫緊の課題です。昨年度から実施している地域日本語教育専門人材養成講座の第2回を今年も5月から開講し、継続的に人材を育成していきます。同講座は、1年以上の日本語教授歴（地域の日本語教室含む）がある人や日本語教師養成講座修了生などを対象に行います。

【開催要項】

［期間］　オンライン講座〔60単位時間〕：令和5（2023）年5月20日（土）～8月9日（水）
対面実習〔16単位時間〕：令和5（2023）年8月下旬～9月（土曜開講）
オンライン実習〔16単位時間〕：令和5（2023）年11月1日（水）～12月20日（水）
※オンライン講座・実習は岩手県、秋田県、山形県の3県合同、対面実習は各県で実施

［定員］　各県10名（合計30名）　　［受講料］　オンライン講座・実習：無料、対面実習：35,000円

［申込］　https://www.y-ex.jp/extension/post-58.html　※4月30日（日）締切

※詳細はフライヤーや募集要項をご覧ください。

２．山形大学男女共同参画セミナー及びダイバーシティセミナーを開催します

山形大学は、毎年６月に開催される「男女共同参画週間」（内閣府他）に賛同するとともに、男女共同参画及びダイバーシティへの意識改革を促進するため『男性の育休』をめぐるあれこれをテーマに山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナーを開催します。

【講演会開催事項】

日　時：５月16日（火）　14:40~16:10
会　場：Zoomウェビナーによるオンライン配信
講　師：東北大学大学院教育学研究科教授　神谷　哲司　氏
『男性の育休』をめぐるあれこれ
対　象：教職員、学生、行政・企業の方、一般の方など、関心のある方
参加費：無料
申　込：別添チラシの申込みフォームよりお申し込みください。（申込締切は5月8日（月））

３．『ホガースの時代（版画で読むイギリス）』出版

山形大学出版会から、「ホガースの時代（版画で読むイギリス）」が出版されました。本書は、ホガースの多彩をきわめる図像を多角的な視点から見つめなおし、斬新な「読み」を提供しています。

（『ホガースの時代（版画で読むイギリス）』著者：中村　隆　発行所：山形大学出版会、2023 年）

４．公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します

山形大学では2014年度以降毎年開催している公開講座「小説を書こう！」を今年度も開講します。受講される方は自作未発表の小説を提出していただき、合評と直木賞作家の高橋義夫さんのアドバイスを受けることができます。なお、県外など遠隔地からのオンラインかメルマガでの受講も可能です。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

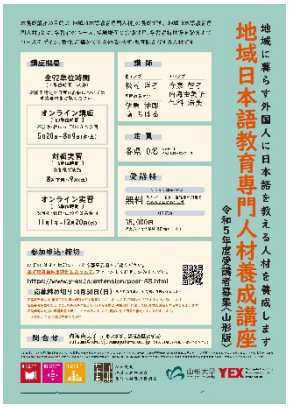
令和5年（2023年）4月6日

地域の日本語教育環境の充実に向けた取り組み

～日本語教育者のスキルアップを目指し、岩手・秋田・山形が合同で講座を開講～

【本件のポイント】

- 日本語教育課程を有する本学、岩手大学、国際教養大学が連携し講座を開講し専門人材の養成・研修を行う。
- 令和4（2022）年2月に岩手県、秋田県、山形県の３県から７団体により締結した「なか東北連携」の協議会が実施。３県にある国際交流協会が人材として登録し、企業等からの照会に対応する。また、「なか東北連携」の協議会が修了者に対する情報提供を行い、人材のさらなるレベルアップをはかる。
- 令和4（2022）年5～11月に第1回が行われ、3県で31名が受講し29名（内、山形県は11名）が修了した。



【概要】

外国人労働者、留学生の増加にともない、質の保証された日本語教育を行うための体制づくりは急務であり、その専門人材の養成・研修が全国で行われています。常勤日本語教師の数が全国最下位の本県では、専門人材の養成が喫緊の課題です。昨年度から実施している地域日本語教育専門人材養成講座の第2回を今年も5月から開講し、継続的に人材を育成していきます。同講座は、1年以上の日本語教授歴（地域の日本語教室含む）がある人や日本語教師養成講座修了生などを対象に行います。

【開催要項】

［期間］ オンライン講座〔60単位時間〕：令和5（2023）年5月20日（土）～8月9日（水）
対面実習〔16単位時間〕：令和5（2023）年8月下旬～9月（土曜開講）
オンライン実習〔16単位時間〕：令和5（2023）年11月1日（水）～12月20日（水）
※オンライン講座・実習は岩手県、秋田県、山形県の3県合同、対面実習は各県で実施

［定員］ 各県10名（合計30名）　［受講料］ オンライン講座・実習：無料、対面実習：35,000円

［申込］ https://www.y-ex.jp/extension/post-58.html ※4月30日（日）締切

※詳細はフライヤーや募集要項をご覧ください。

【「岩手県・秋田県・山形県における地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」について】

令和4（2022）年2月に、岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカの7者で締結した事業連携協定。令和4（2022）年に続き、令和5（2023）年5月から「地域日本語教育専門人材養成講座」を開講する予定。通称、なか東北連携。

なか東北 NAKATOHOKU

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【令和4年度「地域日本語教育専門人材養成講座」について】

・開催概要

［期間］　令和４（2022）年５月～9 月

［内容］　オンライン講座・実習：76 単位時間　・　対面実習：約 16 単位時間

※合計 約 92 単位時間の講座を実施（１単位時間＝45 分）

※オンライン講座・実習は岩手県、秋田県、山形県の３県合同、対面実習は各県で実施

※オンライン講座・実習の内容は、文化審議会国語分科会（2019）「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）確定版」の「日本語教師【初任】研修」を参考とした。

［講師］　松岡洋子（岩手大学）、伊東祐郎・嶋ちはる（国際教養大学）

内海由美子・仁科浩美・今泉智子（山形大学）

［応募条件］　・日本語教育に関する経験があること　　・オンライン受講が可能であること

・３県いずれかに在住し、講座修了後に地域日本語教育専門人材として活動する意思があること　等

［参加者数］　定員：各県 10 名（合計 30 名）

申込者数：71 名から 31 名（うち日本語非母語話者は１名）を受講者として選定

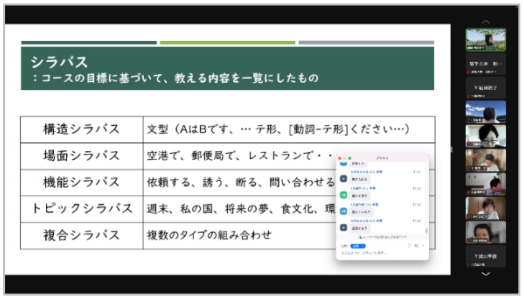
［修了要件］　・80％以上の出席

・模擬授業を含めた実習の実施と課題の提出

［修了者数］　受講者 31 名のうち、対面実習に移行した者は 29 名（岩手県 10 名、秋田県８名、山形県 11 名）

対面実習に移行した受講者全員が修了

※11 月 20 日にオンラインで３県合同の修了式を行い、修了証を授与。その後、各県・市の国際交流協会に、人材バンクへの登録を要請した。



オンライン講座の様子

対面実習の様子（山形大学）

講座終了後に実施したアンケートの結果、①オンラインという開催形態、②３県合同の開催形態、③講師が日本語教育専門で地域事情を知っていることの３点が高く評価されていました。このことから、外国人散在地域では日本語教育人材も散在しており、専門人材同士のつながりや、研修・情報交換の機会が求められていることがわかりました。

今後の日本語教育の活動についてアンケートを行ったところ、約 93％が国際交流協会の人材バンク登録に同意、あるいは既に登録済みであり、70％が有償の仕事が可能であると回答したことから、一定数の人材を養成・確保できたのではないかと考えられます。また、日本語教育の活動形態については、60％が対面でもオンラインでもどちらでもよいと回答したことから、地域の地理や気候に即した教育活動が可能であるといえます。対象者について複数回答で聞いたところ、「だれでもよい」「外国人労働者」が多く、教育の質保証が求められる学習者に対する日本語教育が期待でき、地域の要請に応えようとする人材という点でも講座実施の効果が認められます。一方、日本語教育の活動範囲については、約 60％が居住地かその周辺を希望しており、どの程度の範囲で人材養成を行えばいいのかが示唆されました。

お問い合わせ
学術研究院　教授　内海由美子（学士課程基盤教育院 主担当）
TEL：023-628-4932 メール：yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

地域に暮らす外国人に日本語を教える人材を養成します

地域日本語教育専門人材養成講座

令和5年度受講者募集〈山形版〉

本養成講座の目的は「地域日本語教育専門人材」の養成です。「地域日本語教育専門人材」とは、学習者のニーズ、接触場面と言語使用、学習者特性等を踏まえてコースデザイン、教授、評価ができる知識・技術・教育観を有する人材です。

講座概要

全92単位時間
（1単位時間＝45分）
※修了認定や日程の詳細については募集要項をご覧ください。

オンライン講座
〔 60単位時間 〕
※岩手・秋田・山形の３県合同
5月20日～8月9日（水・土）

対面実習
〔 16単位時間 〕
※各県で実施
8月下旬～9月（土）

オンライン実習
〔 16単位時間 〕
※岩手・秋田・山形の３県合同
11月1日～12月20日（水）

講 師

岩手大学
松岡 洋子

国際教養大学
伊東 祐郎
嶋 ちはる

山形大学
今泉 智子
内海由美子
仁科 浩美

定 員

各県10名 ※合計30名 ※最少開講人数合計10名

受講料

オンライン講座・実習
無料 ※ただし、各自に書籍等の用意を求めることがあります

対面実習
35,000円
※支払い方法等は後日通知します

参加申込・締切

以下のURLまたはQRコードから募集要項をご覧ください。
必ず応募条件を確認したうえで、フォームよりお申し込みください。

https://www.y-ex.jp/extension/post-58.html

応募締め切り：4月30日（日） ※5月10日頃までに受講の可否を通知します

※募集要項には、講座日程や担当講師などを掲載しております。必ずご確認いただきますようお願いします
※応募者多数の場合、また、応募条件の該当状況（研修受講歴・教授歴等）によっては、受講をお断りする場合もあります
※受講者決定後に課題図書を課すことがあります。また、講座の中で図書を指定することがあります。
その場合には、各自ご準備ください

問合せ

内海由美子（山形大学学士課程基盤教育院）
yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp （件名に【R5なか東北】と書いてください）

この事業は、岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカの7者での事業連携協定（「岩手県・秋田県・山形県における『なか東北連携』による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」）に基づいて行われます。

4 質の高い教育をみんなに
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを

なか東北 NAKATOHOKU
なか東北 地域日本語教育 専門人材養成協議会

山形大学 Yamagata University
YEX Yamagata University Extension service organization

【なか東北連携】地域日本語教育専門人材養成講座
令和5年度 募集要項
＜山形版＞

地域に暮らす外国人に日本語を教える人材を養成します

１．目的

本養成講座の目的は「地域日本語教育専門人材」の養成です。「地域日本語教育専門人材」とは、学習者のニーズ、接触場面と言語使用、学習者特性等を踏まえてコースデザイン、教授、評価ができる知識・技術・教育観を有する人材です。具体的には次を目標として講座を実施します。

・文法のみならず、地域社会での生活に必要な知識・地域事情を取り入れた、行動中心の教育を行うことができる。

・外国人が持つ言語・文化を尊重しながら、地域社会で日本語によるコミュニケーション能力を高める教育を行うことができる。

・受入れ住民（日本人）に対し、外国人とのコミュニケーションスキル・意識向上に働きかける教育を行うことができる。

２．概要

本養成講座は、「オンライン講座」「オンライン実習」76単位時間、「対面実習」16単位時間、合計で92単位時間から構成されます。（1単位時間=45 分）

・「オンライン講座」「オンライン実習」は岩手県、秋田県、山形県の合同で、「対面実習」は各県別に行います。

・「オンライン講座」の修了認定を受けた受講者は、「対面実習」「オンライン実習」に進むことができます。

・「オンライン講座」「対面実習」「オンライン実習」を2年以内に修了した受講者には、修了証を発行するとともに、山形市国際交流協会など県内にある国際交流協会等の人材バンクに登録します。希望者は、日本語教師集団である「特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカ」に加入できます。

＊オンライン講座・実習の内容は、文化審議会国語分科会（2019）「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）確定版」の「日本語教師【初任】研修」を参考にしています。

３．講師

松岡洋子（岩手大学）、伊東祐郎（国際教養大学）、嶋ちはる（国際教養大学）、内海由美子（山形大学）、仁科浩美（山形大学）、今泉智子（山形大学）

４．日程

● オンライン講座

5 月 20 日	土	9:00-9:30	オリエンテーション
第 1 クール 基礎編（20単位時間）			
5 月 20 日	土	9:30-11:00	国・地域の在留外国人施策
		11:10-12:40	「生活者としての外国人」に対する日本語教育
5 月 24 日	水	19:00−20:30	「生活者としての外国人」の多様性①
5 月 31 日	水	19:00−20:30	「生活者としての外国人」の多様性②
6 月 3 日	土	9:00−10:30	言語サービス①
		10:40−12:10	言語サービス②
6 月 7 日	水	19:00−20:30	「生活者」のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語学習①②
6 月 14 日	水	19:00−20:30	
6 月 17 日	土	9:00−10:30	初級文型と使用場面
		10:40−12:10	
第 2 クール 「学習者を知る」編（16単位時間）			
6 月 21 日	水	19:00−20:30	学習方法
6 月 24 日	土	9:00−10:30	ライフステージに合わせたキャリアプランと社会参加
		10:40−12:10	「生活者としての外国人」の異文化受容と適応
6 月 28 日	水	19:00−20:30	インタビュー分析の概要
7 月 1 日	土	9:00−10:30	インタビュー分析の実際①
		10:40−12:10	インタビュー分析の実際②
7 月 5 日	水	19:00−20:30	インタビュー分析の実際③
7 月 12 日	水	19:00−20:30	就労現場でのやりとりの分析
第 3 クール 実践編（24単位時間）			
7 月 15 日	土	9:00−10:30	コースデザイン演習①
		10:40−12:10	同②
7 月 19 日	水	19:00−20:30	同③
7 月 22 日	土	9:00−10:30	日本語能力の評価①
		10:40−12:10	日本語能力の評価②
7 月 26 日	水	19:00−20:30	各種指導法・教授法① 初級の授業の流れ
7 月 29 日	土	9:00−10:30	同② 教室活動
		10:40−12:10	同③ 教案の書き方
8 月 2 日	水	19:00−20:30	同④ 書き起こした教案を使っての模擬授業
8 月 5 日	土	9:00−10:30	「生活者としての外国人」のための教材・教具のリソース① 教科書分析
		10:40−12:10	同② 教案の書き方
8 月 9 日	水	19:00−20:30	同③ 活動のデザイン

● **対面実習** （16単位時間）8 月下旬～9 月の土曜日に山形県内で実施予定。

● **オンライン実習**（16単位時間）

オンライン実習（16単位時間）			
11 月 1 日	水	19:00–20:30	コースデザイン演習④ オンライン授業の教材・教具
11 月 8 日	水	19:00–20:30	教材・教具のリソース④ 教案作成
11 月 15 日	水	19:00–20:30	各種指導法・教授法⑤ 教案検討
11 月 22 日	水	19:00–20:30	コースデザイン演習⑤ リハーサル
11 月 29 日	水	19:00–20:30	コースデザイン演習⑥ 模擬授業
12 月 6 日	水	19:00–20:30	コースデザイン演習⑦ 模擬授業
12 月 13 日	水	19:00–20:30	指導力の評価① 模擬授業
12 月 20 日	水	19:00–20:30	指導力の評価②

● **修了式（オンライン）**

12 月 23 日（土）10:00-11:00

5．受講料

オンライン講座・実習： 無料 （ただし、各自に書籍等の用意を求めることがあります）

対面実習： 35,000円 （振込口座等は後日通知）

6．応募条件

①～⑤の全てに該当すること。ただし、①はa～dのいずれかでよい。

① （a～dのいずれかに該当すること）

a. 1年以上の日本語教授歴（地域の日本語教室含む）がある人

b. 日本語教師養成講座、あるいは大学・大学院の日本語教育課程（主専攻・副専攻）に在籍または修了している人

c. 日本語教育能力検定試験を受験した人

d. 複数日にわたる日本語ボランティア養成・研修、日本語学習支援者養成・研修の受講歴がある人

＊判断に迷う際はお気軽にご相談ください。

② コンピュータ（カメラ・マイク付き）とインターネット環境があり、コンピュータで Zoom 参加できる人

③ 山形県に在住している人

④ 修了後に地域日本語教育専門人材として山形県で活動する意思がある人

⑤ 原則として、全ての講座がリアルタイムで受講できる人

7．受講決定までの流れ

応募締め切り　　： 4月30日（日）

受講可否の通知 ： 5月 10 日ごろまでに通知します。
＊応募者多数の場合、また、応募条件の該当状況（研修受講歴・教授歴等）によっては、受講をお断りする場合もあります。
＊受講者決定後に課題図書を課すことがあります。また、講座の中で図書を指定することがあります。その場合には、各自ご準備ください。

8．定員

各県 10 人合計 30 人（最少開講人数合計 10 人）

9．申し込み

次の URL またはQRコードから申し込みフォームにアクセスしてください。
https://forms.gle/dhCFjGtiKrHBxRf88

10．問い合わせ先

内海由美子（山形大学学士課程基盤教育院）
yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp （件名に【なか東北】と書いてください）

この事業は、岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカの 7 者による事業連携協定「岩手県・秋田県・山形県における『なか東北連携』による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」に基づいて行われます。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和5年（2023年）4月6日

山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナー『男性の育休』をめぐるあれこれ　を開催します

【本件のポイント】

- 2022年に「育児・介護休業法」が改正されたことで、男性の育児休業・育児休暇取得が注目されている今『男性の育休』をめぐるあれこれをテーマとした有識者による講演を開催
- 山形大学主催、大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」共催により開催

【概要】

山形大学は、毎年６月に開催される「男女共同参画週間」（内閣府他）に賛同するとともに、男女共同参画及びダイバーシティへの意識改革を促進するため『男性の育休』をめぐるあれこれをテーマに山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナーを開催します。

本セミナーは、令和５年度全国ダイバーシティネットワーク組織東北ブロック南東北会議の研修会を兼ねておりますが、セミナーには、教職員、学生、行政・企業関係者、一般の方など、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。多数のご参加をお待ちしています。

【講演会開催事項】

日　時：５月16日（火）　14:40~16:10
会　場：Zoomウェビナーによるオンライン配信
講　師：東北大学大学院教育学研究科教授　神谷　哲司　氏
　　『男性の育休』をめぐるあれこれ
対　象：教職員、学生、行政・企業の方、一般の方など、関心のある方
参加費：無料
申　込：別添チラシの申込みフォームよりお申し込みください。（申込締切は5月8日（月））

【全国ダイバーシティネットワークとは】

男女共同参画社会や多様な個性・能力が尊重されるインクルーシブな社会の実現のために、文部科学省と連携して、大学や研究機関、企業等における女性研究者の育成や研究環境・研究力の向上を目指す諸機関をつなぎ、国内外の取組動向や参考事例（グッドプラクティス）を収集・公開し、全国的な普及・展開を図る組織です。

お問い合わせ
ダイバーシティ推進室
TEL：023-623-4937　Fax:023-628-4185
メール：　yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナー

『男性の育休』をめぐるあれこれ

男性の育児休業を推進することは、男女平等や子育て支援の観点からも重要ですが、現実には様々な課題もあります。例えば、男性が育児休業を取得することに対する社会的な風潮や休業中の給与減少、キャリアに対する懸念、職場の風土や制度上の問題、男性自身の育児に関するスキルや知識の不足などです。それらの育休をめぐるあれこれについてご講演いただきます。

○開催日時：

令和5年5月16日(火)
〈14:40～16:10〉

○開催方法：**オンライン開催**

※お申込みいただいた方には前日までに参加用のURLをお知らせいたします。
※本学教職員のみ山形大学小白川キャンパスでの参加が可能です。

○参加費：**無料**

講師紹介

神谷 哲司（かみや てつじ）氏
東北大学 大学院教育学研究科 教授
公認心理師、臨床発達心理士

東北大学大学院教育学研究科博士課程修了、博士（教育学）。専門は、生涯発達心理学・子育て学。研究テーマは、親・夫婦の発達や保育者のキャリア発達など、子どもとかかわる「おとな」の発達を主に、子育て支援や教育福祉問題など。

※全国ダイバーシティネットワーク組織東北ブロック南東北会議研修会を兼ねています。

申込方法 下記URL、または右記二次元コードからお申し込みください。申し込みフォームが開きます。
▶ https://forms.office.com/r/B72jNU2CwR

申込締切 令和5年5月8日（月）　**問い合わせ** 山形大学ダイバーシティ推進室 tel.023-628-4937

山形大学 Yamagata University

【主催】国立大学法人山形大学
【共催】大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和5年(2023年)4月6日

『ホガースの時代（版画で読むイギリス）』出版

【 本件のポイント 】

● 本書は、十八世紀のイギリスを映し出すルポルタージュ風のリアルな「絵本」に書き加えられた「解説」です。絵本を描いたのは、当時、ヨーロッパ大陸でもっとも有名なイギリス人の画家だったウィリアム・ホガースという人でした。
彼は、油彩画の名人でもありましたが、何よりも「版画」の名手として知れ渡っていました。ホガースの版画は現代の漫画の元祖ともみなされるもので、「コマ割り」や「セリフ」を持っていました。そして、対象を突き刺すような「毒」を満載した版画を量産し、人々から「やんややんや」の喝采を浴びていました。

● 対象に痛烈な「毒霧」をみまい、快刀乱麻を断つがごとくに相手をばったばったと斬り捨てるホガースの画風は、皮肉とユーモアが大好きなイギリス人を魅了し続け、彼が活躍した時代から、およそ三百年が経ちましたが、今なお、イギリス人に愛されています。それなのに、残念ながら、日本の読者諸賢は、ホガースという画家をあまりご存知とはいえません。こんなにおもしろい版画があるのに、また、時に抱腹絶倒の滑稽な漫画を提供してくれるのに、ホガースは日本ではあまりにも無名です。
本書はこの「悪魔」のような天才絵師ホガースの版画をたくさん紹介し、日本におけるホガースの認知度を高めることに貢献したいと思っています。

● ホガースの版画は時にとても下品で、ポルノグラフィックで、エロティックです。一見すると、どこにエロスがあるの？と思ったりしますが、なんのなんの、卑猥なものは巧妙に隠されているのです。ホガースは矯めつ眇めつ鑑定される時、そしてまた、海よりも深い叡智をもって読まれる時、はじめてそのきわどいまでの卑猥さが浮き彫りになります。

【 概要 】

本書は、ホガースという「風俗画」の巨匠の絵を通して見るイギリスの風景です。風俗画は聖書や神話などを題材とする「歴史画」とは一線を画すジャンルで、当時の人々の滑稽だったり、ごく他愛もない「人生の１コマ」を切り取ることによって、下世話な「世帯風俗」を活写するものです。
ホガースの版画の分析を通して、当時のイギリスの赤裸々な風景が探求されます。そのイギリス的な風景を構成しているのは、拝金主義、金権政治、賄賂、汚職、監獄と公開絞首刑、蔓延する性病（梅毒）、ニセ医者といんちき薬の大流行、蟻地獄のようなギャンブル、見世物小屋と化していた狂人病院などです。

【 背景と経緯 】

漫画やアニメは今や日本のお家芸ともいうべき豊穣な分野です。しかし、多くの人は、漫画はどこから来たのか、その由来にさほどの注意を向けません。現在、漫画の起源は主として二つあるとされており、一人はスイスで軽みに満ちた戯画を手がけたテプフェールで、もう一人はアクの強い諷刺画で知られるイギリスのホガースです。本書は、後者のホガースに焦点をあて、漫画の原型とはいかなるものだったかについても考察しています。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【 ホガースの時代（版画で読むイギリス） 】

本書は、ホガースの風俗画を通して見えてくる十八世紀のイギリスの「実像」を掘り下げる試みです。実像を形成する主体は様々あり、たとえば、当時の腐敗政治、刑務所における賄賂の横行、バブルの崩壊、投資という名のマネー・ゲーム、娼婦らに蔓延していた性病、いんちき薬売りの跳梁跋扈、賭博中毒、劇場化していた精神病院などです。人間は等しくみな「色（性欲）」と「欲（金銭欲）」と「エゴイズム」に支配されているという醜悪な現実を世界に向かってぶちまけたのが、イギリスが生んだ稀代の絵師ホガースでした。本書は、ホガースの多彩をきわめる図像を多角的な視点から見つめなおし、斬新な「読み」を提供しています。

※ A 5 版、258 ページ、本体価格 1,210 円（税込）　2023 年 3 月 15 日より発売。

【 今後に向けて 】

漫画にかぎらず、図像全般に興味を持っている読者に向けて、知的昂奮を呼びさますようなホガースの版画をお見せし、図像を読み解くことの悦びを共有したいと思います。そして、ホガースの版画への人々の興味を高め、日本におけるホガース・ルネサンス（ホガースの再興）の礎となりたいと考えています。

お問い合わせ

■出版に関すること
山形大学出版会（山形大学研究情報部学術情報課）
TEL：023-628-4701

■出版物販売・在庫・取次店に関すること
山形大学出版会 販売部
TEL：023-677-1182

■「ホガースの時代」の内容に関すること
学術研究院 教授　中村隆（人文社会科学部主担当）
e-mail：nakka@human.kj.yamagata-u.ac.jp
TEL：023-628-4796

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和5年（2023年）4月6日

公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します

【本件のポイント】

- 小説家を目指す方も趣味で小説を楽しみたい方も受講できる公開講座
- 直木賞作家 高橋義夫氏が指導
- 対面を基本に、オンライン（リアルタイムと録画）配信・メールマガジンを併用して実施します。
- 遠隔地在住または日程不都合等の事情がある方でも受講可能です。

【概要】山形大学では平成26年度以降毎年開催している公開講座「小説を書こう！」を今年度も開講します。受講される方は自作未発表の小説を提出していただき、直木賞作家の高橋義夫さんのアドバイスを受けることができます。全作品とアドバイスは受講生全員に配付します（10回程度の送付を想定）。加えて交流・情報交換のためスマートフォン・PC等にメールマガジンを配信します。山形大学学術研究院の山本陽史教授（日本文学）がサポートします。プロを目指す方も趣味として小説を書き続けたい方も奮ってご参加ください。
なお、県外など遠隔地からのオンラインかメルマガでの受講も歓迎です。

●日　　程：令和5（2023）年5月31日（水）～8月2日（水）　毎週水曜18時～19時半　全10回

●会　　場：山形大学小白川キャンパス（山形県山形市小白川町1丁目4-12）

●形　　式：対面とオンライン（リアルタイムと録画）配信・メールマガジンを併用

●受 講 料：一般　6,000円／大学生・高校生　2,000円
※お支払い方法についてはお申し込み受け付け後にお知らせします。

●受講資格：高校生以上であればどなたでも受講できます。

●講　　師：高橋義夫氏（作家）1945年生まれ。早稲田大学文学部フランス文学科卒業。
「狼奉行」で直木賞受賞。近著に『火付盗賊改』（中公新書）
山本陽史（山形大学教授（日本文学））著書に『藤沢周平の山形』（山形大学出版会）など。

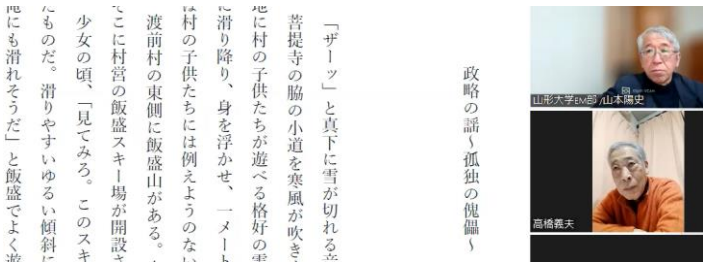
●定　　員：30名（申込順に受け付け、順次受講案内をお送りします。）

●受　　付：4月14日(金)～5月22日(月)（定員に達し次第終了）

●申込方法：Web申込フォームまたはＦＡＸにてお申し込みください。
（電話でのお申込みは受け付けておりません。）
〔Web申込フォームでのお申込み〕https://www.yamagata-u.ac.jp/form/r5shousetsu/entry
または、以下に掲載しているQRコードからアクセスください。
〔ＦＡＸでのお申込み〕023-628-4144

（お問合せ先）
■お申込みに関すること
エンロールメント・マネジメント部入試課
Tel：023-628-4062・4063
■講座の内容に関すること
学術研究院教授（ＥＭ部担当）山本陽史
e-mail：yamaharu★yz.yamagata-u.ac.jp
（メールアドレスの★は@に置き換えてください。）

令和５年度山形大学公開講座
「小説を書こう！」受講者募集



↑昨年度のオンライン講座の模様

直木賞作家高橋義夫さんを講師に招き、山本陽史本学学術研究院教授とともに小説の書き方を指導する講座です。2014 年から開講しています。

受講生に未発表作品を提出していただき、講評・指導します。プロの小説家を目指す方、趣味として小説を書きたい方、小説が生まれるプロセスを体験したい方、年齢・性別・職業を問わずどなたでも受講できます。

対面を基本としてオンライン（リアルタイムと動画）配信・メールマガジンを併用して実施します。遠隔地の方、日時が合わない方でも最適な方式で参加いただけます。

日　　程：令和５（２０２３）年５月３１日（水）～８月２日（水）
　　毎週水曜１８時～１９時半　全１０回
会　　場：山形大学小白川キャンパス（山形県山形市小白川町１丁目４－１２）
受 講 料：一般　6,000 円／大学生・高校生　2,000 円
　　※お支払い方法についてはお申し込み受け付け後にお知らせします。
　　手数料は受講者負担となります。
定　　員：３０名　※先着順に受け付け、順次受講案内をお送りします。
申込期間：４月１４日(金)～５月２２日(月)（定員に達し次第終了。）
申込方法：Ｗｅｂ申込フォームまたはＦＡＸにてお申し込み下さい。
　　※電話での申込は受け付けておりません。ご了承下さい。

①Ｗｅｂ申込フォームの場合
https://www.yamagata-u.ac.jp/form/r5shousetsu/entry
または、右記ＱＲコードからアクセスください。

②ファックスの場合
下の申込票に記載のうえ、ＦＡＸ番号 023-628-4144 へ送信してください。

備　　考：・作品提出方法はお申込み後に直接ご連絡します。
　　・大学に作品を郵送等される場合の料金は各自ご負担いただきます。

お問合せ：**山形大学エンロールメント・マネジメント部**
〒990-8560　山形市小白川町 1-4-12　　TEL:023-628-4062・4063
Mail:yu-enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込票

山形大学公開講座「小説を書こう！」の受講を申し込みます。

お名前(フリガナも記入ください)：	区分(どちらかに〇)： 一般　　大学生・高校生
ご住所：〒	
携帯電話番号：	ファックス(任意)：
電子メールアドレス(携帯アドレスも可)：	